京城日報

二十七日夕刊
(朝夕刊を併せて八頁)

本紙定價 ▲一部金五錢 ▲一ヶ月金七十五錢 ▲三ヶ月金二圓十五錢 ▲六ヶ月金四圓二十錢
廣告料金 ▲五號活字一行金七十五錢 ▲四號活字一行金一圓
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社

時間表 (十一月一日現行)

[illegible]

◎米西伯利密書

東部西伯利を自治獨立國と認む 西伯利東清兩鐵道管理權を占得

勞兵會は西伯利政府委員なる、コロボッフの家宅捜索を行ないしに西伯利政府と米國間の重要書類を發見せり其内容及び西伯利政府の回答次の如し

一、東部西伯利を自治獨立國と認むる事
二、西伯利の不可侵權を西伯利市民に保障する事
三、共和政體を保障する事
四、米國は西伯利東清鐵道管理權を占得し戰後之れを西伯利代表者に引渡す事
五、浦鹽一帶、イルクック迄も是を占領する事
六、鐵道監督は軍事行政と共に米國に委任する事
七、米國は資本的援助を西伯利に與ふると同時に支用方法軍需品等の監督權を米國に與ふる事

西伯利政府は此の質問に對し回答を發して曰く陸戰隊浦鹽上陸の件は内政干渉として反對なるも聯合國を對獨戰爭より論ずる時は西伯利は聯合國の爲めに大なる根據地なり故に聯合國にして西伯利を占領せんとするは至當なる理由あり但し民主共和國なる北米合衆國は此意味にて西伯利政府に對し優越權を有す可し(浦鹽電報)

◎米國政府の反感

米國は勞農政府に對し只管反感を避け表面勞農政府を信用しつゝありたるに拘はらず西伯利政府との秘密文書發表されて甚大の反感を惹起せり(浦鹽電報)

◎英軍機先を制す

北部戰場の瓦斯彈戰

英軍司令部附ロイテル通信員二十三日發所報に曰く『二十二日夜ホベリング及びイーブル其の他後方地帶及び北部戰場の各地に於て激しき瓦斯彈戰行はれたり 我が軍は明かに一時機先を制しヤチユーアブルイ森林の南方一千碼の正面戰線を攻擊し深さ平均二百五十碼に亘りて我が戰線を進出せしめ奪取されたる陣地を回復し敵に多大の損害を與へたり』(倫敦電報)

◎獨軍攻勢に出でざるは 食糧品不足の爲め

獨軍は各地點に多數の兵員を集中したるに拘らず今尚は攻擊の擧に出づるを抑止しつゝあり俘虜の言に依れば獨軍塹壕内に流行病蔓延し各戰線共兵員に支給すべき食糧品不充分なりと(倫敦電報)

◎段總理回答と形勢

段總理は錢能訓、北商務會代表の陳情に對し平和を熱望するも南方の態度政府の武力討伐を餘儀なくせしむるを遺憾とすと答へ同時に政府の方針を表明せり尚ほ總理は目的貫徹の爲め李純、陳光遠兩氏と會見し廣東軍の退去を迫るに至るべしと期待され形勢緊張す(北京特電)

◎段張兩氏意思疏通

段總理は張懷芝氏と圓滿に意思の疏通を了し更に李純、陳光遠の兩氏を往訪すべく二十四日夜下向し津浦線にて歸京する事に旅程を變更せりと(北京特電)

◎昌德宮御催宴

李王殿下は既報の如く二十七日午後零時三十分より昌德宮仁政殿に於て午餐の饗宴を催され道長官會議列席の爲め目下滯京中なる各道長官を主賓とし同時に陪賓として長谷川總督山縣政務總監總督府各部長官、所屬官署長、松川並司令官釜屋高橋兩武官朝鮮貴族の一部を招待されたり

◎道長官會議(第五日)

道長官會議第五日は二十七日午前九時より總督府第二會議室に於て政務總監統裁の下に開會前日に引續き各道長官の意見開陳あり正午散會せり

◎本年東拓移民募集

自作移民九百四十戸地主移民六十戸

東洋拓殖會社より總督府に對し認可申請中なりし第九回朝鮮農業移民募集の件は二十六日附認可されたるが募集戸數は第一種自作移民九百四十戸第二種地主移民六十戸にして之れを前年の第八回移民に比すれば第一種に於て六十戸を減ぜるも第二種は反つて十戸を增し結局會社の移民に貸附する土地の面積は略同樣なり尚ほ各道の收容戸數は左の如し

▲京畿道 第一種百八十九戸、第二種七戸
▲忠淸北道 第一種十七戸、第二種三戸
▲忠淸南道 第一種九十一戸、第二種六戸
▲全羅北道 第一種百六十五戸、第二種八戸
▲全羅南道 第一種百十五戸、第二種十戸
▲慶尚南道 第一種六十二戸、第二種五戸
▲慶尚北道 第一種四十一戸、第二種九戸
▲黄海道 第一種二百二十五戸、第二種十一戸
▲平安北道 第一種十戸
▲咸鏡南道 第一種十五戸、第二種一戸
▲江原道 第一種十戸

▲二宮長談 右に付殖民課長二宮德氏は曰く第九回東拓移民募集戸數が第一回と若干異ひ第一種に於て六十戸減じ第二種に於て十戸を殖したのは別に意味はなく土地選定の都合からである、移民申込みの手續きは前回同樣です會社ではすでに移民募集に付諸種の手筈を決定してゐたから二十六日當局の認可に接し次第下の關出張所に電報して直ちに募集に取掛り社員五六名は近縣に向け直ちに出發した筈です

◎稅關長會議

稅關長會議は來五月二十日より總督府第二會議室に於て開催の筈

◎辭令

二十六日附左の通り辭令ありたり

大邱高等普通學校教諭 中野與右衛門
任大邱高等普通學校教諭 叙高等官八等
清州公立農業學校教諭 中川千吉
任清州公立農業學校教諭 叙高等官七等
清州公立農業學校長を命す 陸軍一等軍醫 野川弘
任朝鮮總督府慈惠醫院醫長 叙高等官五等
咸北會寧慈惠醫院在勤を命ず 朝鮮總督府勸業模範場技師 野木傳三
依願免本官 朝鮮總督府事務官 楠本茂作
依願免本官

◎官制改正内容

廿六日勅令を以て(一)朝鮮總督府地方官々制中改正の件(二)同臨時土地調査局官制中改正の件(三)同裁判所職員定員令中改正の件(四)同中央試驗所官制中改正の件(五)同監獄官制中改正の件公布されたが是等改正の結果(一)地方廳に技手其他若干名增員(二)臨時土地調査局技師一名並に副事務官三名減員(三)裁判所に登記事務擴張等の爲め檢事五名書記三十一名增員(四)中央試驗所に技手二名增員(五)監獄に看守長四人の增員行はるべしと

◎新聞用紙の値上

同業者の大問題

新聞用紙値上の情報東京より達したるを以て今回長谷川西鮮、茶川釜日、岡本北鮮、京日藤村の四氏は全鮮各社を代表して京城に會合し善後策協議中更に東京より七割値上の至急電報に接したるを以て我同業者に取り容易ならざる重大問題なりと信じ廿六日總督府に鈴木度支部長官を訪ひて意見を開陳すると同時に總督府の經過を聽取し更に山縣政務總監に會見して親しく希望を陳情せしに總監は相當調査の上出來得る限り盡力すべき旨を語り一同引き取りたるが更に一方朝鮮新聞協會の名を以て東京の新聞協會へ値上反對交渉方の電報を發せり

◎朝郵專務異動

吉田氏退任せん 後任は松崎氏乎

朝鮮郵船會社專務取締役吉田秀次郎氏は約十日前京城の寓居を引拂ひ仁川に移轉しその後病氣もある模樣にて會社を缺勤し居れるが聞く所によれば吉田氏は三十日役員

△全部の滿期 に際し朝鮮郵船會社の重役を去つて其の再選を固辭せん底意なる如し何故に吉田氏が創立以來關係深き朝郵を退くやに就ては諸種の事情ある模樣なれど表面の理由は保護會社の職務が同酒店を營なむは穩やかならずとの說行力筋にある爲めならん氏は現に元山及び淸津に於て吉田回漕部を經營なみ居るに付滿期を機とし退社せんとするものゝ如し然らば從來は吉田氏が回漕店を兼營しても差支へなかりしやと云ふに現在の吉田回漕部は最近まで丸吉回漕部と稱し合資會社組織にして吉田氏は單に一

△有限責任社員 たりしに留まりしも面白からざる事件あり諸種の關係上會社を解散して今春吉田氏の個人經營となせしものにて問題はその後起り來れるものなり一說には吉田氏が朝鮮海運界に精通せるを稱し平取締役にても留任するに非ずやとの噂あれど氏並にその他の關係上それは困難の問題なるべし尚ほ後任專務は三十日の株主總會にて決定する譯なるが多分營業課長松崎時勉氏の任ずべしとの說最も近し

◎釜山共同倉庫增築

釜山共同倉庫會社は營業成績極めて良好にて將來の發展期して俟つべきを以て今回新に二棟の倉庫を增築する事を重役會議に於て決議し目下設計中なるが本月末迄には出來すべく出來ると共に指名入札に附し工事に著手の筈なるが倉庫の一棟八十坪は釜山精米所分工場隣接り一棟(二百餘坪)は現在倉庫の裏手に增築する豫定なりと(釜山)

◎日支米旅客連絡

△鮮滿鐵道の旅行者も日支鐵道の代金引換小荷物利用者も近く大に利便となる

滿鐵總務部交通課長 三本武重氏談

四月上旬より中旬に亘り鐵道院旅客課主催で交通部内外各大汽船會社代表者により東京に開會されし日支連絡會議並日支米連絡會議に出席せし滿鐵交通課長三本武重氏は歸任の途二十七日朝入京せり其の談に曰く

今回の連絡會議は重要な案件多く其の決定調印されたものゝ中には日支連絡の改良のみならず之れに米國航路を加へ世界的たらんとするものもあつた、會議は五日から初めて日支連絡の方に五六日を費やし引續き日支並に米航路の連絡會議を開會十九日調印を了したのである、會議の收穫中の主なるもの二三を語ると

▲日支米連絡 從來やつてゐる日支旅客の連絡に今回桑港を基點とする太平洋汽船會社、バンクバーを基點とする加奈陀太平洋鐵道汽船會社並に亞米利加航路に從へる日本郵船會社大阪商船會社東洋汽船會社及支那の日淸汽船會社を加ふる事となつた、これは將來更に一歩を進めて亞米利加大陸鐵道と日支鐵道が連絡輸送をやり得る素地を造つたのであつて是に世界的の旅客連絡開始の出發點を云ふ事が出來る、コレが今回の會同で最も大きい意味の協調であつた、其の實行期は何れも外國の會社を含んでゐる事だから尚ほ未定である、然し必らずしも遠い事でなからう、尚ほ太平洋汽船會社代表者は本社から來たのでなく橫濱の駐在員が出席した

▲日支商人利便 次にコレ迄日支鐵道の小荷物連絡輸送はやつてゐるけれど代金引換の便法は日本の鐵道乃ち院線滿鐵だけであつて支那にはなかつた、コレは日本側の鐵道利用者にとり非常に不便を感じた問題である、今回の會議は本問題に就ても種々討議の結果支那の連絡鐵道でも日本鐵道同樣代金引換小荷物の取扱ひを實行する事に確定茲二三箇月中に開始するであらう、之れは日支商人にとり頗る重要な新便法である

▲安東通過便法 更に日支連絡により朝鮮の鐵道から滿洲の鐵道に又滿洲の鐵道から朝鮮の鐵道に入る者は安東の支那稅關に於ける旅客の手荷物檢査に立會しなければならなかつた、若し立會せねば手荷物は留置されるのであつた、コレは旅客にとり甚しい不便だから今回の會議で滿鐵が旅客より稅關檢査立會の依賴を受け又稅關檢査に立會の依賴で滿鐵が旅客に更つて稅關檢査に立會ふ事が出來るやうになつた、此の協定は旅行者にとり多大の便利である、實行期は支那鐵道の代金引換小包開始同樣二三箇月先きからとなつてゐる

◎朝郵成績

第六期後半年度

朝鮮郵船會社の大正六年十月一日より大正七年三月三十一日に至る第六期後半年度の成績を聞くに左の如し

當半年度末に於ける定期航路は命令私營併せて十四線所有汽船は廿七艘一萬六千十九噸傭船二艘千五百七十噸にして當半年度間の航海回數八百六十二回航海浬數延長三十二萬五千九百十四海里輸送貨物一七萬八千四百四十噸船客十四萬三千八百四十二人とす

當會社設立以來茲に六箇年を閲し社業逐年進捗し殆んど朝鮮全沿海の運輸を司ると共に漸次近海航路の經營に入らんとす既に半島より大連、青島、浦鹽、門司等に航路を通じ本年四月に及ては朝鮮總督府航海命令書追加命令に據り清津敦賀線(乃ち多年朝鮮の懸案たりし所謂日本海橫斷航路)を新設し同時に私營航路鎭南浦大連線を開くに至れり本季の營業成績を概言するに市場の好況社外船の減退等諸因相伴うて良好なる成績を擧ぐるを得たり以下各線別に之れを述ぶべし

一 近海航路

元山浦鹽斯德線(命令) 本線には前に一般な配し内一般な釜山門司に延長のところ前年三月以降之を一般とし元山止めとせしが偶々社外船減退のため各船腹不足を告げ内地向け移出品の滯貨問題起り遂に朝鮮總督府の命に依り同年十二月以降其使用船を二般に改め釜山門司神戸を經て大阪に延長するに至れり

本線は浦鹽向け米穀の輸出、浦鹽より豆粕雜貨等の輸入に依り季を逐うて進境を呈せしも本季に入り露國内亂のため浦鹽に於ける金融杜絶して對露貿易不振を極め復航は僅に阪神門司行豆粕の元山接續に因り船腹の一部に充たすに過ぎざりしが之を阪神に延長するに及び各港に亙り船腹の利用相當なるものあり就中淸津方面の白豆大豆小豆小麥鰮等の出貨多量を占む季末浦鹽の形勢稍々改まり載貨乘客多きを加へ季を通じて豫期の成績を擧ぐるを得たり

仁川芝罘線(私營) 本線は逐年發達し本季に於て更に一段の進捗を呈し半島より米穀日用品食用品鹽干魚荷造材料等の輸出青島より原鹽諸雜貨の輸入夥く乘客亦尠からざるものありたり

一 東沿岸各航路

元山雄基門司(甲線)(乙線)(命令) 釜山鬱陵島線(命令) 釜山浦項線(命令) 釜山元山線(私營) 元山長箭線(私營)

北鮮物産の大宗たる大豆は凶作明太の不漁なりしに拘らず市價未曾有の昇騰して滯貨潤澤なりしと當方面の漁業の發達就中鰮漁の普及と共に豐漁、鑛産物の移出增加、江原道より北鮮一帶の興地の開發に伴ふ購買力の增進等に因り各線の荷動狀態益々良好に船客の往來亦常に頻繁なるものありて其成績優秀なり

三 南沿岸各航路

釜山濟州島線(命令) 釜山麗水線(命令) 木浦麗水線(私營) 木浦濟州島西廻線(命令)

當沿岸に於ける主要物産たる米穀及棉花豐作にして恰も搬出季に中り且市價昂騰のため荷動活況を呈し隨て地方の購買力增進し各島亦漁利多く所在旅客出稼人の往來繁くして各線何れも盛況を持續せり

四 西沿岸各航路

木浦多島海線(命令) 仁川木浦線(命令) 仁川海州線(命令) 仁川鎭南浦線(命令)

當方面亦米穀豐穰の影響なきにあらざるも地勢上此等各線の發達遲々たるを遺憾とす

以上之を要するに當會社本季に於ける營業成績は良好にして船舶修繕費傭船料燃料其他一般經費異常の昇騰に拘らず收支計算上豫期の利益を收むるを得たり而かも諸物價の昇騰底止する處を知らず經理上非常の警戒を要すべく且つ海運界の趨勢に鑑み他日の反動に備ふる必要上此際一層會社の基礎を鞏固ならしめんとし大修繕積立金、船價償却金、別途積立金等を充分に償却し餘力を以て職員臨時特別手當株主臨時特別配當金配當平均準備積立金等を計上せり乃ち總收入金四十七萬六千四百五圓七十二錢總支出金五萬八千二百三十二圓二十二錢差引金四十一萬八千百七十三圓五十錢にして此内より船價償却金十六萬五千百九十四圓七十四錢船舶大修繕積立金五萬三千五百三圓三十八錢建物原價償却金千八百八十九圓六十錢を控除し益金十九萬七千五百八十五圓七十八錢を得たり之に前季繰越金四萬八千八百七十八圓八十九錢を加へたる金二十四萬六千四百六十四圓六十七錢の内金一萬圓を商法に依る準備積立金とし金五萬圓を別途積立金とし金一萬圓を役員賞與金とし金一萬五千三百三十四圓三十九錢を海陸職員臨時特別手當金とし金三萬五千圓を配當平均準備積立金とし金五萬二千五百圓を株主配當金(一株に付金八十七錢五厘即ち年七朱に當る)金二萬二千五百圓を株主臨時特別配當金(一株に付金卅七錢五厘即ち年三朱に當る)とし金五萬一千百卅圓廿八錢を後季繰越金となすを相當と認め茲に利益金分配案を提出するに至れり

▼益金分配案

第六期前半年度より繰越	四八、八七八、八九
當期利益金	一九七、五八五、七八
合計	二四六、四六四、六七
内	
準備積立金	一〇、〇〇〇、〇〇
前途積立金	五〇、〇〇〇、〇〇
役員賞與金	一〇、〇〇〇、〇〇
海陸職員臨時特別手當金	一五、三三四、三九
配當平均準備積立金	三五、〇〇〇、〇〇
配當金(年七朱)	五二、五〇〇、〇〇
臨時特別配當金(年三朱)	二二、五〇〇、〇〇
次期へ繰越高	五一、一三〇、二八

(單位圓)

◎永沼中將講演

帝國在郷軍人會理事永沼中將は二十七日午後七時二十八分南大門驛着列車にて入京巴城館に投ずべく二十八、九兩日滯在此間二十八日午前九時半より南大門小學校に於て講演を爲し三十日朝發のことに變更したるに依り從つて大田に於ける講演は三十日大邱五月一日釜山二日開催の事に決定馬山に於ける講演は多分中止となるべし

◎道長官招待會

總督府各部長官及び各局長の發起に係る各道長官招待會は既報の如く二十七日午後六時より花月に於て開催出席者六十名盛會なりき

◎三本滿鐵交通課長

滿鐵交通課長三本武重氏は廿七日朝東京より入京直ちに京城管理局を訪ひたるが多分廿八日夜北行歸連すべし

◎阿部社長歸京

豫て九州視察團一行と共に幹部長として九州各地を視察中なりし阿部本社長は一行と共に二十七日午後九時南大門驛着歸社す可し

人 肖

▲原田金之祐氏(朝郵取締役兼任) 二十七日夜入京
▲廣江澤次郎氏 廿六日夜歸京
▲千輪市氏(軍司官) 馬匹檢査の爲め二十七日朝釜山へ
▲永河氏(水原農林學校教授) 二十六日附東京に出張を命ぜらる
▲末松多美彦氏(李王職事務官) 金堤郡に出張を命ぜらる
▲高崎齊氏(遞信技師) 東京、大阪兩地へ出張を命ぜらる
▲伊藤門次氏(山林課技師) 二十五日より咸北道へ出張
▲木村林次郎氏(三菱理事) 二十七日朝入京天圖線へ
▲北海道旭川居留團一行二十七日朝平壤へ向け出發
▲久能平壤商議書記長 二十七日朝南大門驛

通過赴任
▲滿洲新報主催伊勢參宮團 參宮を終りて二十七日朝南大門驛通過 奉天に向ふ
▲田邊部長氏 朝鮮紡織專務 ▲中村彥氏(同顧問) 二十七日午九時著京の筈

◎歸化鮮人の子孫が いと懷し氣に

鹿兒島市の歡迎會

『九州視察團より第九信』

鹿鳴館の樓上に催かれた九州視察團歡迎會には高橋知事以下鹿兒島市の有志百數十名參會主客打ち寬いで朝鮮開發とか朝鮮と鹿兒島の歷史的關係なぞに花を咲かしたが就中日置郡苗代川肝屬郡鹿屋町の名等からわざ〳〵山越え七里の遠路を厭はず出市して來た

◎歸化鮮人の子孫は木綿の五ツ紋に袴と言ふ扮裝で一々挨拶して廻り三日も前から來てお待ちして居りました村民一統は是非村に來て貰ひたいと言つて居りますが何分遠路の事で來て頂けないのが殘念です…今でも飯を喰ふ事をパンモコラ父祖の事をアバーヂなど〻言つて居ります朝鮮の言葉と同じですか』など〻尋ねて同じだと答へると

◎非常に懷かしがり自分達の嬉しい心持は口では現はせないと言ふやうな事を繰返し〳〵それを聞ひ此れを答へ恰も三百年前に別れた同胞に邂逅ふたやうな喜び方であつた高橋知事や市長の好意で混雜した歡迎會場では覺束ないので船の中で悠くり話したい所に行つて

◎人々六七名が一行に對し氏を始め移住村の山野田一成氏が宜からうと言ふので山野田氏ら六七名は一行の乘る船に乘つて船中では山野田氏が歸化鮮人が島津家から士分の待遇を受けた事や保護の厚かつた事などを演舌すると鄭雲復氏を始め一行の人々は自分の事のやうに喜び合ひながらも詳しい事を聞いて居た人は村でも相當勢力のある方で交換した名刺は印刷して

◎村内一統に 頒ち村の老人に傳へたいと思ふ、我々も後日朝鮮へ觀光をする心意でと言つて居た、幹部員が觀察團のメダルを自分のを外して胸に著けて遣ると涙を流さん許りに喜んで遣る見せて遣ると何かと言へば村の者が村の者と言ふ餘程村内の結合や和が固いらしい與へられたメダルを羽織の上に著けて得々と市中を歩き廻つて居る處を見た團員は其の純朴な

◎飾り氣ない 村人の心理を察して思はず血の湧るを知つた

▲廿七日午後櫻花滿開の牛耳洞 ＝明日本紙讀者慰安觀櫻會催さるゝ＝

◎花と人にて

＝牛耳洞の天地を埋めん＝

本紙讀者慰安觀櫻會の日

牛耳洞の櫻は稍い木の中の多少は一兩日前からボツ／＼散りかけたが同處特有の古木は今が滿開で二十八日の日曜日は丁度見頃だらうと思はれる、それにこの日は京城管理局が招待する各道長官の觀櫻會を始めとして昨紙に記した諸種の團體やらサッポロビール會社關係の數十名の團體吳服商組合の百名その他の諸團體が陸續と出かけるので花と人とで牛耳洞の天地は咽せ返るやうな賑ひを呈することであらうと想像される、それに東小門から自動車で行く道及び汽車客の行く倉洞驛から牛耳洞までの道も昨年頃より見違へるばかりによく改修されて道幅も廣くなつたし路面の平らかなことは實際行つて見て驚くばかりである、殊に倉洞牛耳洞間の一里足らずの間には青草が燃えて道端には朝鮮では滅多に見られない菜の花が黄色く畑を彩どつて居るのもあれば菫、蒲公英の花などの咲き亂れて居るのも美しく花の香を求めて嬉戯する蝶と縺れ合ひながら行けば些しも退屈を感じない許か限りない愉快を覺ゆることであらうと思ふ

▽日傘翳して 藝妓妓生連の乘り込み 餘興のかず／＼

牛耳洞に於ける本社の讀者慰安會は昨紙記載の如く煙花の打揚げ、寶探し、內鮮藝妓の手踊り、綱渡り、お伽大會、馬鹿囃子、博多仁輪加、樂隊などのあります外中券、京城券、新券の各券番から美形連中が三十名とサッポロビール會社からは〻千〻、〆太郎（中券）、桃葉、鶴千代、久鶴、秀松（新券）、小豆、小梅、福千代、茶羅菊（京城券）以上十人の半玉を出し、これが何れも年増姿に裝ひ眼も覺むるやうな日傘を翳して牛耳洞へ乘込むことになつて居ります、また同社の斡旋で素人連中の野外劇もあることになつて居ります

▽お伽大會 少年少女の爲めに

＝演者を態々內地から招聘＝

二十八日の牛耳洞のお花見會には大人の觀るものは隨分ありますが少年少女諸君のために寶探しと綱渡りだけでは甚だ物足りないやうに思ふのでお伽大會を催ふすことは既報の通りでありますがお伽噺の演者は今回態々內地から招聘したお伽噺の專門家龍山淚光氏で櫻の花がヒラ／＼と散る下で得意のお伽噺に少年少女諸君に滿足を與へることゝ思ひますからお父様お母様兄様姉様などが花見においでの節は是非御一緒にお出で下さい

◎京城府主催の招魂祭 三十日倭城臺にて

京城府主催に係る招魂祭は三十日午前十一時より倭城臺公園に於て祭典執行され當日は主なる官民殉難者遺族各學校生徒多數の參拜ある筈にて府民一般は國旗を掲揚し參拜する事を希望す可く祭典は晴雨に拘らず執行さる可し

◎九州視察團 廿七日夜歸京

四月十五日京城を出發し九州各地を巡覽中なりし京城日報及び每日申報兩社主催の九州視察團一行は豫定の行動を終へて無事二十七日午後九時南大門驛着歸京す可し

▲釜山港著　視察團一行四十四名は好天氣の中に各地の歡迎を受け無事視察を了し二十七日朝連絡船博愛丸にて朝光を負ひ小波を蹴つて釜山に入港し此處にて南鮮團と別れ午前十時半列車にて北行せり（釜山特電）

▲元氣旺盛　本社主催九州視察團は豫定の行動を了へ二十七日午後一時二十三分大邱驛通過北行したるが團員一同元氣旺盛なり（大邱二十七日午後一時廿五分視察團幹部發電）

◎ネアンダー事件落著 問題の行李は開かれず

久しく問題となり居たる瑞典宣教師ネアンダー氏に關する事件は[illegible]東京駐在瑞典公使館一等書記官フエブレル氏北京より歸任の途京城へ立寄り總督部と折衝の結果相互了解を得て問題の行李は開閉する事無く事件は全く落著せり隨つてネアンダー氏は不日京城を出發北行する事となる可し

◎暴れ犬は狂犬と判明

二十五日京城市內を狂奔して犬數頭及び通行人を咬み廻りたる黃金町二丁目深堀某方の飼犬は二十六日警務部の獸醫診斷の結果狂犬と確定したるより即日撲殺せり此の犬は以前狂犬病豫防注射の際は生後間もなかりし爲め注射を免除しゐたる由にて尙取調べしに二十五日旭町二丁目の一色寬一（二九）をも咬みつきゐたること判明せり被害者は何れも手當を加へ咬傷されし犬は撲殺せり而して前記の狂犬が暴れ廻りたる黃金町、旭町、南大門一帶に於ける畜犬飼養者に對しては本町警察署にて向ふ六週間飼犬を繫留する樣に示達せり尙近來は時候の故か市中には每日咬傷犬絕へず被害者續出し居れるより一般注意すべき時季なりと

◎八幡製鐵所 兩部長を取調

福岡地方裁判所の高橋豫審判事は八幡製鐵所に出張し鋼材部長葛城治、販賣部長小川瀧次郎の兩氏を取調べたり（福岡電報）

◎平安中學生處刑

三月十二日京都平安中學校三年生佐々木顯正（一七）が學友坪竹松（一七）を卽死せしめたる事件は二十六日懲役二年但し二年間執行猶豫の旨判決ありたり（大阪特電）

◎十五萬圓を盜まる

臺南の明治製糖工場にて二十五日小切手と爲替券都合十五萬圓盜まれたるを發見目下嚴探中也（臺北電報）

◎後藤氏飛行

帝國飛行協會飛行家後藤正雄氏は四國に於て飛行成功二十七日德島へ飛行せり（大阪特電）

◎小田原の火事

相州小田原在岩村石屋遠藤平七郎方より廿六日出火三十一戶燒失せり損害三萬圓（大阪特電）

◎羅老島事件解決

全南羅老島の漁夫中同地水產會社の漁船に乘組み內地より歸島の途中遭難し行方不明となりたるものあり其遺族親族等は之を全く會社の處置の當を得ざりし結果なりとし大擧して同社事務所を襲ひ不穩の擧動ありし事は既報の如くなるが其後水產會社及び憲兵分遣所は漁夫側と善後策に就き協議する處あり其結果會社は死亡者一人に付金二百圓合計千二百圓を弔慰金として出すこととなり双方圓滿なる解決を告げたる由なり

◎十九戶を全燒 二郡に亙る火事

二十四日午後三時頃江原道鐵原郡葛末面土城里李喜鳳方より發火したる上火は烈風の爲め村續きなる金化郡西面に飛火して同所を十三戶全燒し同部落三戶を全燒し二十五日午前七時頃鎭火せり此の火災にて豚十六頭燒死するに至り損害一千八百圓の見込みなりと原因取調べ中（鐵原[illegible]電）

◎二戶同時に發火

二十六日午後零時五十分頃京城橋北五番地林淳九方及び隣家との二棟より同時に發火し折柄の烈風に煽られ大事に及ばんとせるを常備消防隊が出動し合計三棟の屋根裏を燒きたるのみにて同一時四十分頃消し止めたり原因は附近の製綿工場の煙突より飛火したるものの如し

◎慶州より釜山へ ＝自轉車の乘逃げ＝

先頃釜山寶水町一丁目三番地日置久太郞方へ田中源市と名乘り親戚よりの添書を僞造して金員を詐取せんとして逮捕されたる和歌山縣那賀郡北野上村大字七山三三六田中涉（三七）は當地へ流れ込む以前慶州郡慶州面西部里一四七柴田團九郞方へ止宿し山中旭と僞名して四月十一日より十四日迄の食費及び酒肴料十一圓四十錢を支拂はず剰さへ今日午後一時佛國寺見物へ出掛くると稱し同氏の自轉車を借り受け懷中物を預けて出で行きたる儘釜山へ自轉車にて來りたる者にして柴田方にては何時迄も歸宅せざるに依り懷中物を開き見たるに中には新聞紙にて包みたる瓦の破片數枚なりし爲め直に告訴したり證據品として釜山警察署へ送致したるが身柄と共に保管中なりと（釜山）

◎愈々著手される 海洋調査

漁獲能率を向上する手段[illegible]

▲魚群集散の關係 及び候等の統計を取つて魚群の位置などを豫測しようといふのが目的である、明治二十五年に水產調查所を設け初めて海洋調查に著手したが財政上の關係から廢されてゐたが今度愈々水產講習所內に海洋調查部を新設することゝなり九月には竣成する百六十噸の汽船及講習所の練習船雲鷹丸の二隻で全國の

▲沿海を巡回調査 し[illegible]

▲催に食膳を賑はす ことが出來るだらう、過去の不設備な調查でさへも宮津沖や室戶崎沖に二大漁礁（魚族の群がる暗礁）を發見して附近の漁家を非常に利してゐるが今後斯ういふ發見に依つて利する處は大きいであらう（東京）

◎武術臨時會 高野九段を招聘

東京九段坂下[illegible]館の高野佐三郎氏（九段）は靑島より歸途二十七日入京せり右に就き憲兵隊司令部總監部有志組織の武術會にては同氏を聘し二十八日午後一時より總監部道場に於て講演並に京龍有段者の仕合を擧行す可く當日は長谷川總督、山縣政務總監、松川軍司令官、古海總長等の臨場ある筈

◎國分夫人の小園遊會

國分司法部長官夫人は官舍の外庭を利用し二十七日午後二時より小園遊會を催ほし日頃懇意なる司法關係者の夫人令孃數十名を招待し種々の餘興あり午後六時散會せり

◎日曜學校聯合會

若草町西本願寺の京城佛教日曜學校にては二十八日午前十時より[illegible]

◎七月頃には米價が下がる

『澤風大過』の卦 ＝田村介石一筮を試みる＝

[illegible]

◆剛柔相和

し南北相通じ而も有無過不足なく相補ひ得るのみならず高低輕重和和して事物整ふの象とあるから今度の調節策に持つて來いの封面で殊に既濟の澤風大過に之くは

◆尙ほ更ら

面白い結果を見るべき事になる詳い說明は省くとして我が政府が管理權を運用して米價の氣勢を真向から抑ゆるのは大に策の得たるものなるのみならず大過は

◆陽暦七月

に相當するを以て此の時季に於て昨年水害に遇ひたる粗惡米續々入津し兵阪其他東京市場等の倉庫さいよ／＼膨と云はず在米の堆積を見る事となるべく斯くて米價の

◆大暴落を

見る事あるやも知れずたれど變幻極りなき相場の事とて其折り一粒の雨にも亦一陽の變にも定期界は神經過敏となり米界は亂高下を見ることあるやも知れず

灯ともし頃

[illegible]

讀者文藝（一等に五十錢の賞品を呈す）

▲舘める

〇兜（一等）　龍山元町吉井吳服店內　佳作　西子

[illegible]

次回課題

讀者文藝課題及募集規定

締切 發表 廿六日 廿七日

▲募集規程▲用紙は端書又は同形の用紙一枚每に雅號の外に住所氏名明記の事▲一等に五十錢の賞品を呈す▲締切後の投稿は無效

商況

兵庫期米

二十七日前場 寄付 二十六圓五十六錢 二節 五十七錢 三節 五十六錢

東京期米特電

[illegible]

大阪三品特電

二十七日前場 一節 二節 二十六圓七十三錢 六十四錢

大阪株式特電

二十七日前場 [illegible]

大阪期米特電

二十七日前場 [illegible]

下關期米特電

[illegible]

雜報

◎綿糸布は區々

大阪三品の米棉二十七日前場は[illegible]

返し[illegible]

各期は大差なく現物[illegible]

安報なるも綿布[illegible]

龍レーは十圓三十五錢[illegible]先物[illegible]

◎正米持合ひ

[illegible]市況浮腰ながら持合

◎製粉底意手堅

內地製粉は其後何れも[illegible]

新粉は舊粉より上鞘を呈する[illegible]觀測

◎鐵板厚物高

[illegible]手堅き[illegible]底意は至つて

下關相場

[illegible]

南大門の廻穀

[illegible]

仁川正米

[illegible]

◎十圓內外引上 百貫目付三

[illegible]

◎金巾と投物

[illegible]十五六圓迄取引 最底二百七 案外冷靜に看過し

◎染料底堅し

[illegible]

◎洋釘の其後

[illegible]

◎白米更に下押

二十六圓以內[illegible]更に十錢方下押

生魚市場

▲正米は依然[illegible]

◎釜山水產市場 [illegible]

仁川期米

▲二十七日前場（不勢）

先二十二圓十八錢と二錢に安寄付き大阪下放れ移り一錢と瓦落[illegible]

[illegible]不勢の成行

◎居と正米の軟弱に戾り買方の警戒

[illegible]軟派筋の賣物[illegible]

市場雜觀

[illegible]

◎調節の反抗買

[illegible]

◎公定相場に據る

[illegible]朝鮮米の公定價格が刻下の重大問題

仁川米豆取引所 二十七日の六月限

[illegible]

北濱たより

▲納會後の豫測

[illegible]

白米標準値

二十六圓七十錢

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町 金谷仲買店 電話長三六七・三六九 [illegible]

仁川海岸町 電話 [illegible] 倉庫 [illegible]

大阪米 [illegible]

天氣 晴れ一時[illegible]

大連より

○久しく上京中なりし宮尾民政長官は二十二日歸任せり長官の歸任は在滿邦人の熱心に待望し居たる處にして吾人は都督府施政に一進展を見るべき事を暗示せられたるの感なくんばあらず

○從來滿洲の事は小大となく滿鐵會社の經營する處にして都督府としては特に取立てゝ擧ぐるほどの治績を示さゞるもの、如し宮尾長官は就任以來各地を視察し事物を精査し特に此の政治的處女地の開拓に大鋤を加へんとするに當り其の經綸に就きて豫め政府と精密なる打合せを了したるもの、如し

○在滿邦人が長官の歸任を待ち侘びたる所以のもの一に非ず吾人之れを茲に羅列するを好まざれども其の解決の適否は直ちに在住者の利害に關し滿洲開發の將來に大なる影響を齎らし而かも其の解決の急を要すべきもの二三にして足らず吾人は在滿邦人一同と共に長官の快腕を揮ふべき日近きに在りと多大の待望を抱持し居るものに候

○滿鐵の對朝鮮賣炭價格問題は世の程漸く落著せるが今後石炭需要期に入り果して朝鮮の需要者が完く滿鐵所定の炭價にて供給を受け得べきや否やは甚だ疑問なりとす

○又滿洲に於ける鑛、工業の發達に伴ひ滿鐵の石炭が朝鮮の需要に對して如何なる程度迄の供給を爲し得べきや石炭輸送力を果して現今以上に增加し得べきや否や頗る疑問なりとす

○朝鮮にては今後の動力に就きて深慮を要すべき時期に逢著せるに非ざるか徒らに滿洲の石炭を賴みとするは甚だ危險に非ざるか莫大なる無煙炭に由りて動力を起す工夫は最も必要の事なるべし滿鐵にては朝鮮滿洲の炭價を均一とし運賃累加を以て各地方の賣價と定むる事となりたるも今回滿洲地賣炭の價格を引上げ今冬需要期に入らば更に價格の引上げを爲さんとするの計畫ありと云ふ然らば朝鮮は滿洲と同一の炭價に均霑すると雖も運賃累加の爲め實際に於て聊か恩惠も享くる能はざる次第となるべく炭價暴騰の苦辛を再び繰返さゞるを得ぬ仕儀となるべし

○吾人は重ねて云はん炭價引下げ運動に苦辛するも可なれど一面に朝鮮炭の利用を考究し動力獨立を企畫する事は朝鮮產業上重大なる懸案なりと

鮮人に對して土地購買を禁ず

◇遼潘道尹の禁止命令◇

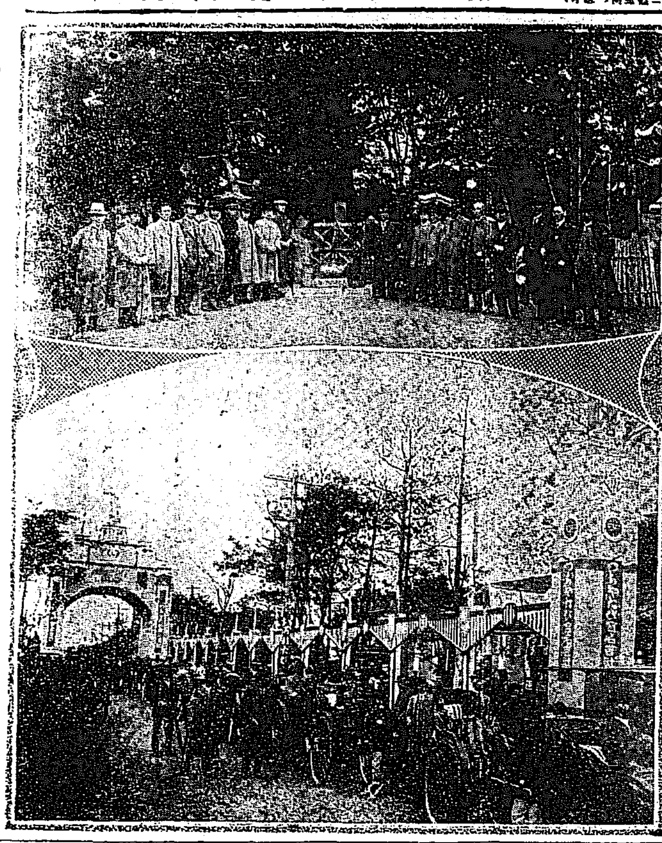
遼潘道尹榮涉章氏は近時鮮人の省內に移住して土地を購買する者漸く多く爲めに時々交涉事件を惹起す事多しとの理由にて今回是等鮮人の土地購買を嚴禁すべく各縣知事に通令したり(營口)

海賊防衛策

營口漁業總局にては例年漁期に至れば海賊橫行して被害尠からざるに鑑み今回新に經費十萬元を投じて附近漁業保護の爲め巡邏船を購入し一大刷新を圖らんとて同局總辦起士桁氏は北京に出で目下張省長と商議中なれば遠からず實行すべしと云ふ(營口)

東拓と滿洲

東拓會社奉天支店に於ける現在の



九州視察團畫報

(上)高山彥九郎墓前の記念撮影(下)發明品博覽會に於る團員

各地と廻穀(二)

仁川商業會議所調査

◇水原◇

◆出廻狀況◆ 米の出廻り狀況に就ては時局柄一般農家にありても持越の意あるが如く米商が時局持越の狀態にあるを以て現下の商況より見るに地方に於て相當思惑的買占を行ひ居る商狀を察し容易に持米の不作期を欲せざるが如し又內地の不作の影響より及ぼし來る品薄は延いて鮮米の需給關係を生じ將來の沸騰を氣構へつゝあり尙ほ籾の貯藏久しきに耐ふるを以て殊に前年の米は乾燥時期を失したる關係上玄米調製の困難なる事情により當分の間出來得る限り籾にて貯藏し時期待買の傾向あるが如し。現下の持米に關しては略ぼ前記の理由を以て容易に手放さず一面品薄は爭ふ可からざる事實にして最近玄米の出廻り殆んど皆無の狀態にあり本年一二三月仁川及び京城へ發送せし籾の數量は仁川九千六百三十石京城八千二百十石にして要するに籾玄米の大部分は既に出廻り居るを以て將來は出廻り亦微々たるものならむとの見込みなり

◆檢査種別◆ 前年度に於ける檢查は其の大部分は大豆にして玄米中白米は檢查總數の三分の一に該當する微々たる狀況にあり將來の檢查豫想數は來る九月迄に約二萬叺を算すべく而して該地方は前記の如く籾にて賣買するの商習慣あるを以て殘餘の大部分は仁川京城へ向け籾の搬出を見るに至るべし今昨年十月より本年三月末に至る米穀檢查數及び仕向地を擧ぐれば鮮內一萬五千二百九十六叺(仁川)內地二千七百八叺(兵庫大阪神戶等)此外無檢查品として京城に發送したるもの約一萬叺に達する見込也

◆滯貨狀況◆ 滯貨は今尙ほ山積し三萬叺今日(四月十日)尙ほ一萬叺を下らず託送後二箇月或ひは三箇月を要し頗る混雜したる狀態にあり該地の如き完備せる倉庫を有せざる地方に於ては商人の蒙る打擊僅少ならず屢々商機を逸すると同時に金融の便を缺き地方商人の活動を阻止する事夥だしく微々たる數量の噸積の如きに不便なきも車積に至りては豫定の時日を要するが如く貨車の配給殆んど豫想出來ざる場合もありと尙ほ外米粟等の需用は殆んど其傾向無きが如し

大同江源の人外境(上)

◆宛然たる朝鮮の五家庄◆ 原始的なる火田の民の生活振り

平安南道書記菱元九山雨氏が三月上旬から四月の中旬まで約四十日間平安南道の奥地を視察した處が雨氏の土產話に依ると甚だ興味多く然も視察した寧遠郡の奥地は

◆宛然太古の俤◆

を存し然も其風俗習慣の如き自然を伴とし自然を樂しみ恰も肥後八代の五家の庄の如き觀あると云つて左の如く語つた。曰く、寧遠郡は狼林山脈、東白山脈に包擁せられた高地で郡は小白、大興、鎭城、新昌、温泉、後化、青龍、永樂、寧遠の九面に分れてゐるが就中小白、大興兩面は山又山の奥にて此地方より落つる谷川の流れが卽ち

◆大同江の河源◆

である高山峻嶽を擧ぐれば劍山、嶺山、蒼嶺等の如き海拔七千尺以上に達し虎、豹、熊の如き猛獸棲息して人跡極めて稀少國有林要存林民有林等約二十四萬町步あるが十七萬町步は殆ど荒廢に歸して火田耕作の植林上如何に大害ありしやを想像せしめた樹木は椴ね、モミ、ヤマナラシ、ツガ、カバ、ドロ、ナラ、シナノキ、ウレカンバ、朝鮮松等である

◆荒廢したる林◆

の村間々に美しい林の存在するのを見るも山崩れて石の突出た爲め將來造林不能の土地となつた所も尠くはない、森林中最も繁茂してゐるのは白楊樹類で將來造林を爲すにも此種類のものが最適當であらうと思ふ此等白楊樹類の多くは燐寸の軸木又は經木細工に使用せらるゝ爲め近來內地に輸出せられてゐる現に社倉の普通學校長は內地から經木製作の器械を取寄せ

◆經木の製作法◆

を生徒に敎へてゐるが此等は最も適切な地方的敎育と云つても良からう。併ながら一般の民有林は山の上へ上へと燒き盡されて土民は薪炭と燃料とに窮乏し專ら自作自給の方法に苦慮せるもの、如くである。而して去る大正三年の水害は是等の火田民に目を當てられぬ慘害を被らし背面の山崩れで田を埋め人家の上に山を突起したので錦城面の谷を堰止め百五十人の

◆火田民を生埋◆

となし今でさへ白骨の谷底より出づる等迄も火田民の生活狀態に至つては想像以上である、毎年山に穴を入れては粟を蒔き蕎麥を植え馬鈴薯を掘つて食ふ等自然の生活をなす。民は良けれども火田耕作の弊等は大雨大水に際して此くの如く山を流すのであるから堪らない。所が此の人外境に破天荒な奇談があるから次に之を述べやう。

ストライキ

南滿製糖職工

南滿洲製糖會社職工の同盟罷工は既報の如くなるが同社の日本人職工は七十名にして殆んど全部が同盟罷工せるため工場內の業務全般に亙りて停止の止むなきに到り同社は今正に精糖を市場に賣出さんとせる際此の事件出來し不鮮事と云ふべし初め職工側は四名の總代を選びて會社側に對し勞銀三割の增給を要請し尙ほ勞働時間を一日十時間のところ八時間に短縮し且つ一箇月二回の公休日を與ふべしと交涉したる處會社側は之を不當なる要求なりとし極めて强硬に主謀者を見るべきを直ちに

總代四名を馘首し

構內より立ち退くべく命じたり茲に於て其他の職工全部は會社の處置を不都合なりと憤慨し突然同盟罷工し若し會社にして我等の要求を容れざれば全員辭職すべしと連名の上辭職を申し出でたるなり而して擧動不穩の狀態にありたるを以て急報に接し警官の增派を見尙ほ會社に於ては臨時に夜警二十名、事務所內に七八名の不寢番を設けて嚴重なる警戒に任じたり事件擴大するや會社側にては聊か狼狽の態にて二十二日早朝より橋本專務以下役員會議を開き頻りに協議を重ね前後策を講じたるが會社に於ては此際事業の一段落と共に人員節約の時期なるを以て極めて强硬なる態度に出でたるが如く現今の事情の下に在勤出來難きものは此際退職するも自由なりと云ひ渡したれば更に二十餘名辭職の上退場し向背定まらず有耶無耶の者三十數名は遂に會社の意のまゝに復職するに到れりと、右に付き會社側は曰く總代の一人たる竹內爲次郞(三七)は之れまで

各地にて同盟罷工

屢々金を借りたる不良の徒にて會社にても注意人物となし居たるが今回同人の煽動するところとなりて此の事件勃發したるが會社に於ては無論斯くの如きことを喜ばされど些しも痛痒を感せずと語り暗に人員淘汰の好機會なりしを仄めかし居れり而して復職者卅餘名と外に支那職工とを以て廿四日より從前の通り從業するに至り本事件は茲に平穩を見るに至れり(奉天)

何でも値上(看護料)

平壤では今度看護料の値上を行ふ事になつて左の通り二十二日認可になつた

(看護婦)	(一等)	(二等)
普通	一圓五十錢	一圓二十錢
傳染病	一圓八十錢	一圓四十錢

而して附添人は普通一圓六十五錢、傳染病一圓八十五錢で以前より看護婦二三十錢、附添人十五錢の値上げさせたのである(平壤)

數百年前の

◆鐵鑛を發見して復興◆

平北渭源郡梧里面松洞及び滿浦面水口洞に今を距ると數百年前に鮮人の經營せし鐵鑛存在し當時何地に不完全なる製煉所を設立し製鐵を行ひたるもの、如く同方面に於ける是等鐵滓の數量頗る多額に上れるが新安州大倉組に於ては過般來より鮮人々夫を督し該鐵滓の採取を行ひ居れるが目下約一萬噸を集積したれば近く之を製煉すべしと云ふ(平壤)

敎科書の繪

◆鎭南浦から出す寫眞◆

文部省にては朝鮮各著名都市の寫眞を蒐集し敎科書に挿入する筈にて各府郡に寫眞提出方を照會し來れるが鎭南浦府にては鎭南浦港の主要及び鑛石積出の實況を撮影提出する筈なりと(鎭南浦)

徽章の懸賞募集

◆平壤商業會議所に於ける◆

平壤商業會議所にては今回徽章の懸賞募集をなす由其の要件は平壤商業會議所たることを象徵し得べき樣にし又『平』或は『商』の文字を表すも差支なく意匠は高尙にして優雅なるを可とし且つ成るべく簡單なるものを採擇すべく一等當選者に對しては反物一反以下二三等には相當の賞品を贈るべしと締切は五月十日なり(平壤)

商業登記公告

株式會社漢城農工銀行春川支店支配人中村孝嗣登記事項中變更
大正七年二月二十七日取締役ノ住所ヲ京城府南大門通二丁目百四十番地ノ壹ト變更シタリ
右大正七年四月二十二日登記
京城地方法院春川支廳

法人登記公告

麻田地方金融組合ハ出資總口數ヲ參百四拾八口ニ拂込ミタル出資ノ總額ヲ壹千五圓貳拾貳錢ニ各變更ス
右大正七年四月貳拾五日登記
京城地方法院漣川出張所

廣州地方金融組合登記事項變更
大正七年三月二十一日出資總口數及拂込タル出資ノ總額ヲ左ノ如ク變更ス
出資總口數 參百七拾九口
拂込タル出資ノ總額 金壹千百參拾四圓參拾六錢五厘
右大正七年四月二十四日登記
京城地方法院廣州出張所

告 龍山分會員

來ル廿八日(日曜日)南大門小學校ニ於テ在鄕軍人會理事永沼中將閣下ノ講話有之ニ付分會員ハ當日午前九時迄ニ參集相成度シ
帝國在鄕軍人會 京城分會 龍山分會

鉛筆無代進呈

物價騰貴だと云ふのに此んな安くて良い鉛筆があるか本工場製造元直賣各種の鉛筆を見本に十八本入十錢で買へると云ふ安價鉛筆 [illegible] 御申込次第御送附す 東京振替 [illegible]
東京龜戶柳島 瀨尾工場

最新流行帽子

春向 ソフト 中折帽子 金二圓より金六圓迄
パナマ帽子 金一圓より五圓八十五錢迄
▲送料鮮內十二錢外二十錢
▲鳥打帽其他最新形浮山取揃へ居り候
◎御注文の際は柄向(縞とか無地など)色合御嗜好及價格頭廻り寸法御申越被下候はゞ必ず適當の品見計ひ御送付可申上候
京城太平通 京城日報代理部 電話構內十八番 振替京城三〇〇番

內科 小兒科 中島醫院

京城府明治町二丁目(本町江戶川橫より入る)電話三七八番
入院隨意
院主 中島貞信

旅行用具一切

本年流行 洋傘各種新荷著
專賣品 柳製鞄
毛布二枚續 三圓五十錢以上 上物各種
東京製鞄各種
防水布マント各種
魔法瓶及中瓶取替
鞄製造販賣
京城本町一丁目 高木旅行用具店 電話一三四番

の禁煙パイプ

東京醫藥學會新發見根本的禁煙劑 味も香も煙草以上
ニセ物あり眞價を明にする爲見本液進呈送料貳錢
東京神田猿樂町三丁目 一貫社

胃腸病とタラコン

普通胃腸の藥は只だ其時限りの消化を助け無理に胃液の分泌を促し又は胃液を中和するだけですが此タラコンは弛緩だ胃腸の筋を引締めて其活動を順調にし胃液を整へ消化を十分にして吸收を好くし本統に健全な身體となります急性慢性の胃腸加答兒、胃腸アトニー、胃擴張、胃酸過多、常習便秘、常習下痢、胃痛、胃潰瘍等苟くも胃腸病に苦む方は是非御試し被下タラの一種峻烈なる刺戟は如何に頑固な長年の胃腸病でも鮮驗卓効があります
○散藥五十錢一圓二圓 煎藥一圓一圓九十錢○送料八錢海外卅錢
本舖 東京小石川下富坂町廿 無量壽藥園(電話小石川二九五六 振替東京二〇〇二一)

眼科專門 江頭眼科醫院

入院隨意
京城明治町東拓橫(電話二〇四四番)
日曜祭日午後二時迄
江頭富雄

株式取引は如何にすればヨイ乎

◆株式取引とは果してドンナもの乎?
◆如何にせば株式成金となり得る乎?
◆如何にせば株式の損失を免れる乎?
◆何時が株式の出陣の好期か
◆今はドノ株を買へばキット儲る乎?
東京株式取引所仲買人
前記の疑問を有せらるゝ方は經驗の有無を記入し當店地方課宛申込めば無料にて詳細說明可仕候
沖野商店地方課
東京市日本橋區坂本町十八 電話浪花 長九三七 長四六四四 長三八五 長四六五七

祝 開業三十週年記念

謹啓弊樓華開業以來三十年を迎へ樓屋舊式にて衛生上其他不備の點有之御客樣の御滿足を得候事如何と存じ今春早々樓主北京天津へ出張し獨特の技倆を有する料理人を招聘し設計せしめ重資を惜まず洋式に改造裝飾致候就而は淨潔丁寧を旨とし宴會出前共自祝三十週年記念の爲め特別大勉强仕候間多少に拘ず御用命の程伏て奉願上候
京城鍾路通二丁目四六番地(水標橋通)
高等支那料理元祖 第一樓 公記 主人謹白 電話二六〇七番

痔疾專門 久枝肛門病院

入院隨意
京城明治町二丁目本町より入る中程(電話二一〇二番)

故文治葬式ノ際ハ遠路御會葬被下難有乍略儀紙上ヲ以テ御禮申上候
京城旭町二丁目三十番地
渡邊ヨシ
親族一同

賀[illegible]病院

京城明治町一丁目 電話二四番
內科 小兒科
入院隨意
毎日五名を限り無料施療す
醫學博士 古城憲治

時計 金銀 製作販賣 品質
仁川本町 [illegible]岐商店 (電話三七〇番・振替京城七一一番)

富の道しるべ

川縣五十雄 村上唯吉共著
定價十五錢 郵稅二錢
京城太平通 振替京城三〇〇番 日報社代理部

星印ソース

今やいづれの御家庭にてもソースは星印を御愛用になる
本品は其品質に於て實にソース界の明星なり
全國到る處の洋酒食料品雜貨店にて販賣す
發賣元 大阪市 祭原伊太郎

▲二十七日後場 大阪前止め二十六圓四十錢後寄三十九錢の入電ありて中二十一圓九十三
▲後場當限二十六圓四十錢の移りあり
▲中限一節二十一圓九十錢
▲先限一節二十二圓ノ五錢六錢七

仁川米豆取引所 二十七日の六月限 二十二圓ノ二錢三錢二錢一錢

連絡船上陸客 二十六日午前入港高麗丸上陸二二三名

▲死亡廣告者には五十錢迄に限る ▲廣告何號と明記に限る ▲表後一週間以內に到着のもの 京城日報編輯局諸者文藝

塚原卜傳
悟道軒圓玉口演

第五十八席

話頭一轉塚原小太郎勝義は先達て牢獄へ打込れましてより、今日は調べがあるか明日は呼出しがあるかと、相待つて居りますが、更に何樣の沙汰もございません、三度の食物も日々段々に減じて來ると云ふ工合、最早身體も疲勞いたし唯天を仰いで長歎をいたす外はなく、どうか一日も早く牢内を立出で、本國へ歸り、父兄の安否を尋ねたいものと日頃信ずる日吉權現を一生懸命に念じ、此災ひを逃れるやうにと、只丹精を凝らし石牢の中に一人泣然として考へて居ります、折からピカリ光りました稲妻、没りは一時眞晝の如く明るく相成り、見ると牢の前へ人影、ハテナ今時分是へ人が來る筈はないが、非常に身體が勞れ目もかすんで居るゆゑ、人に見ゆたのかと牢の細の所へ面を著けまして、頻りに外の方を覗いて居ります暫らくすると又ピカリ光つた稲妻、キッと眼を定めて見ると確かに二人其れに佇んで居ります樣子、小太郎大きに怪しみ猶も表の樣子を打眺めて居ります、此方は伜作熊吉の兄弟、漸々石牢の前へ出でましたから、ホッと一息を吐いて互ひに顔を見合せ、テッキリ旦那樣が此内にお出でに違ひないと伜作ズカ／＼と進み 伜『恐れながら若殿樣はお出でございますか』小太郎樣は此内にお出でなさいますか』と二聲三聲、小太郎勝義は 小『塚原勝義は是れに居るが、若殿小太郎などゝいふは抑も何人だ』伜『さういふお聲は小太郎樣、さては御無事でお出で遊ばしたか、誠に喜ばしく存ずる』私は伜作でございます 小『エ、ツ、扨は其方は伜作なるか、何うして是へ參つた』伜『委細の儀は只今言上いたしますが、何は兎もあれ、牢内からお出し申さなければなりません、暫時お控へ下さるやう、熊吉若殿樣がお無事でお在で遊ばすぞ、早速お助け申上げなければならんが、何うしたものだ』熊『決して兄さん心配をなさらぬやう、高の知れた此んな木柴牢、打破るに何の手間暇の入つたものではない』と四邊を見廻すと傍らに一つの大石、熊『どうぞ旦那樣、其方へ少し片寄つて居て下さいまし、只今此所を叩き破つてお救ひ申上げまする』とアリヤ／＼と右の石を目よりも高く差上げた熊吉、大喝一聲、格子へドーンと投げ付けた、何かは以つて堪るべきガラ／＼／＼バタ／＼と凄まじき物音、メリ／＼ボキーンと忽ち牢格子は微塵になつて碎けました、莞爾り笑つた熊吉躍り掛つて牢格子メリ／＼と打破り 熊『サア是なればお身體は自由に出られます、早々お立出で遊ばすやう』流石の塚原小太郎も仰天いたし、漸々牢内より立出でました 小『伜作、此人は何人である』伜『私の弟熊吉と申する者、父磯右衛門が手許に居りましたを今度私が鎮鶴へ參り、久方で對面いたし若殿樣の御難儀をお救ひ申す爲、同道いたしました』小『ツム、驚ろき入つたる怪力、實に天下の豪傑イヤ汝等兄弟の忠義、生々世々忘却は致さん、シテ私が此の牢内に居る事をどうして、其方等承知いたして參つたか』伜『されば何から申上げて宜しいか分りませんが御在所に於て佐竹彈正左衛門野心を企て、大殿が御座わつては萬事己れが思ふ儘にならんと奸計を以つて笠間の松並木にて大殿を大勢にて取圍み、謀叛を企てた逆賊と申して討取りました』聞いて小太郎 小『ヱッ』と許り、餘りの驚きに涙も出ず、只泣然と失神いたしました、是はさもあるべき事、小『伜作、殘念である』伜『お察し申します』ホロリ落涙した秋山、又言葉を繼いで……

外科一般 皮膚科 泌尿器科 花柳病科
院長 安部修三
安部醫院
京城永樂町二丁目金光教會隣 電話四一九番

乳牛 朝鮮ホテル 病院 御用
岡野牧場
京城東四軒町 電話一〇六九

曆
四月廿九日 九星 舊三月十九日 丙午 本命一白 北滿先負

[illegible]

人から嫌はれる わきがを
全治して喜び秘訣山の如し 責任有る確實療で早くなほしなさい
◎音尾博士先生創見 化學的療法無代進呈
藥學界に名譽ある陸軍一等軍醫音尾博士先生は男女わきが病にてお困りの人を助けんが爲數年間苦心研究の結果今回最も進歩したる「チゼン液」ヨクキク責任ある藥を創見致しました是迄無責任な一寸素人ダマシの賣藥にて効無くお困りの人も彼是と迷はず一日も早く東京府淀橋町柏木百貳拾番地 東京博愛藥院究にハガキで申込めばわきが化學的新療法の本を無代で上ます

消渇で困る方
りん病
切手三錢送れ自宅で秘密に治す妙藥を人助けに無代でお敎へ致し升
名古屋市南かじや町 武藤福吉

周易
明治町二丁目
介石堂
岡村介石

演藝案内

大正館
櫻井町 電話八七三
日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店
○當る廿六日より特選大寫眞 ○日活新派『鬼丸花太郎』 ○新派大活劇『明光』八千呎 ○新派大悲劇『藝者一代』全五巻
[illegible]

黄金館
電話二三六三七 二三六六
天然色活動寫眞株式會社京城釜山一手代理店
當る四月二十日より特別三大寫眞提供 ▲滑稽 眞夜中頃 ▲舊劇 有馬温泉 ▲人情活劇『母の愛』
[illegible]

有樂館
ユニヴァーサル會社特約 活動寫眞常設館 電話(階上)二〇五番
當る四月廿五日より公開特別大寫眞 ○舊劇 國定忠次 全六巻 ○戦場哀話『召集令』全三巻 ○新派悲劇 露の心 全四巻
[illegible]

浪花館
明治町二丁目 電話二六〇番
○京阪落語登喜和會一行 △四月十七日より開演
▲滑稽掛合(社中) ▲ものまね(顔藝) ▲落語(しん王) ▲落語手踊(團彌) ▲落語手踊(歌之助) ▲少年落語音曲手踊 ▲落語(小しん鏡) ▲中入 ▲當一派十八番の電氣 ▲落語音曲 ▲落語手踊(木鶴) ▲大切喜劇
[illegible]

公告
左ノ不動産ヲ左ノ日時ニ競賣ニ附ス
入札保證金ハ申出額ノ十分ノ一トス
京城地方法院

●京城府崇仁洞貳百拾八番地
一、垈參百壹坪 最低競賣價額金百五拾五圓也
一、右地上ニ建設 木造草葺平家建本家壹棟 此建坪九坪八合四勺 最低競賣價額金四拾貳圓也
一、同所四拾參番地 垈四拾四坪 最低競賣價額金拾八圓也
一、右地上ニ建設 木造草葺平家建本家壹棟 此建坪五坪六合 最低競賣價額金拾六圓也
右不動産所有者 京城府樂園洞貳百拾參番地ノ一 安鎭泰 申立人 山口兵吉

[illegible]

以上競賣期日ハ大正七年五月八日午前拾時トス

携帯にも便利な 服むにも
胃活錠
これは醫學藥學的最新の智識を應用し從來の胃活を加減した新式の錠劑也
定價 貳拾錢 五拾錢 壹圓 貳圓

職業
美職遠近男女誰にも自宅で手輕に出來る年中無休熟練日收一圓 製品永久確實に買受く
以上詳細郵券十錢要す ▲此際各地と特約店募集▲
東京淺草區北三筋町一 三星總本店

最新刊
滿鐵京城管理局編 朝鮮鐵道旅行案内 定價七十錢
最近教育學の進歩 尼子止 一、五〇
世界の大勢と南米 野田良治 一、八〇
最新朝鮮地理 [illegible] 二、〇〇
機械設計 工作便覽 森田敬治 一、四〇
人世 [illegible] 九〇
[illegible] 一、〇〇
新らしき詩と其作り方 [illegible] 一、〇〇
縮刷 [illegible] が作戰 [illegible] 七
[illegible] 一、〇〇
お伽風の [illegible] 七五
[illegible] 五五
[illegible] 五〇
抵抗式大强健術 [illegible] 一五
トルストイ書翰集 [illegible] 六〇
總督府編 大正七年 鑛區一覽 定價七十錢
大阪屋號書店 京城明治町 振替京城二五七三

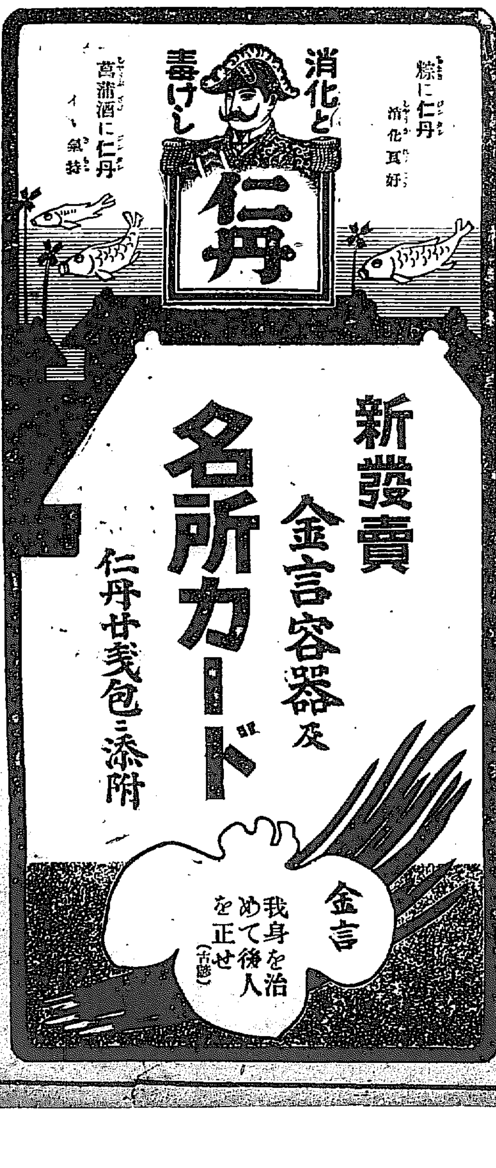
質 大塚質店
京城明治町二丁目元隣町 電話一八四九
◎戰慄すべき火災の防備に遺憾なし
◎多額の融通

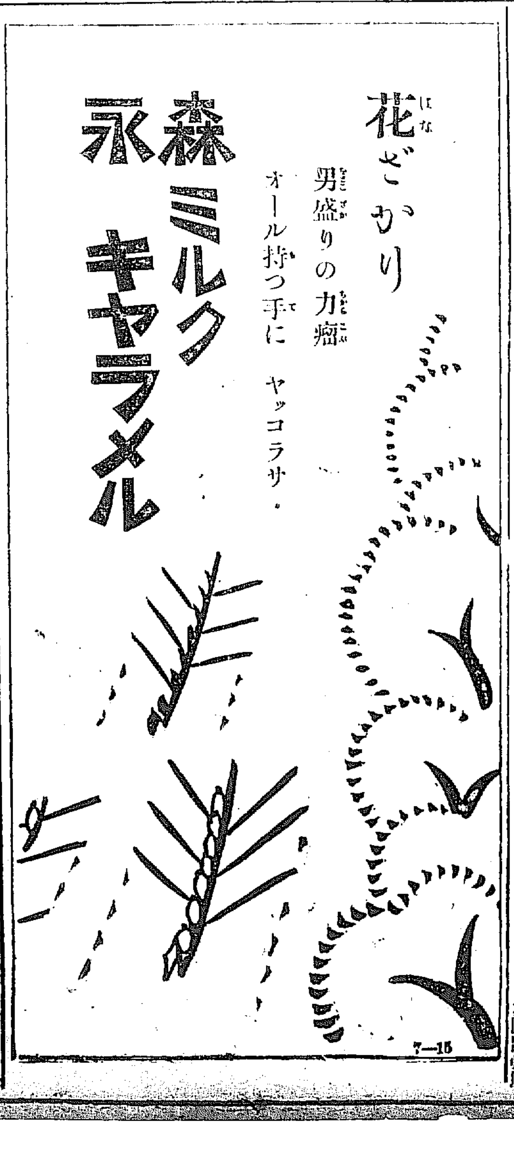
宮内省御用品 本品の價値は既に社會に定評あり
到る所の文具店に目下競爭販賣中 買ふ人の德な時 最寄販賣店に乞御用命 目録無代進呈
大阪東區平野町二丁目 スワン大阪出張所

蠅退治
蠅の民法は只此一法あるのみ!!
ST式固形石油乳劑を使用して
蠅の蛆を撲滅せられよ!!
一打二十八錢 半打十五錢 送料實費
朝鮮總發賣所 京城本町二丁目 熊平支店 (電話長六二四〇番三一五番)
大阪賣所 京城太平通 電話長三二六 振替京城三〇〇 京城日報社代理部

◎發熱と檢温器＝家庭必備◎
△代表的模範 PINE 檢温器▽

優美 サック入
朝鮮總督府醫院檢定證附 定價特製壹圓四十錢 郵税十二錢
本品は時代の要求に喚醒せられ多年苦辛考究の結果製作したる良品にして彼の精巧無比と誇れる獨逸製を凌駕し示度の正確と技術の優秀なるは本邦幾多製品中の模範的逸品たるを證す加之價亦廉也乞ふ眞偽は現品に徴せられたし
商標 PINE
パイン檢温器發賣元 京城太平通 振替京城三〇〇 電話長三六六 京城日報代理部





汽車發着時間表（京釜線 南行・北行、京義線、京元線、京仁線 等）[illegible]

京城日報
第五版
二十八日朝刊 (朝夕刊と併せて八頁)
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介

獨軍大攻勢成功疑問

獨軍が西部戰線に大攻勢を取つて以來既に一箇月餘を經過した。獨帝がヒンデンブルグ元帥と共に陣頭に立つて叱咤したのは三月二十一日であつた。而してソンム河流域の猛撃は僅か十日間に其力を銷磨し、其後十日にして再攻勢はラバッセ、イープル間に向つて開始されたが、此も今や再び頓挫せんとする形勢となつた。未だ危險なる時期より脱せしにはあらざるも、フランダースの線は將に固著せんとす、とは英軍側の報告である。然り獨軍は十七日の夕より十八日に掛けて更に死力を盡して高地の奪取に努力した。獨軍として斯くの如き肉彈戰、白兵戰を行つた事はないと稱せられて居る。地形の關係もあつたらうが英軍の此に抗する努力も大であつた。英軍が此度程絶大な力を發揮した事は曾てなかつたやうである。『命を欲がる兵隊』として佛軍の間にさへ評判せられた英軍が、今度こそ云ふ今度は銃劍の間に勇ましい白兵戰を行つた。勿論フランダースの勝負は英軍に取つて最後のものである。イープルの高地一度敵の手に歸せんか白耳義の野にある百餘萬の英白其他の雜軍は一擧ダンキルク、カレーの海岸に押し付けられねばならぬ。ドーヴァーの海は英軍に於ける壇ノ浦であらねばならぬ。獨軍は右翼をイープルに託し其より西南ケメルの高地を横切り更に西部なるバイユールの市街を占領し、此前面に走る牛の背の如き一帶の高地を一擧にして占領せんと企圖した。此高地を越ゆればイープル後方の聯絡線は悉く死命を制する事が出來るのである。最初のラバッセ、アルメンチエールの線を一蹴した時の勢ひを以てしたならば二百米突に足らぬ高地は物の數ではなかつたのである。然るに其時より十日を經た十八九日には既う獨逸の壓力は頓に減少し、哩を以てした前進の速度が碼を以てする程に押しつ押されつ寸地の高地を爭ふ事となつた。十日間の此の激烈なる戰鬪に獨軍は既に四十萬の兵を失つたと云ふ。四十萬と云へば二十個師團、日本の有する師團の殆ご全部である。獨軍如何に優勢なりとは云へ漸く五六十個師團を以て追撃し來つて、其中二十個師團を失つたのであるから其攻擊力の激減せるは當然である。屍は屍の上に積まれケメルの高地は地を見られぬとさへ傳へられた。此の大犧牲を拂つた時は英軍の運命は風前の燈であつた。イープルの正面は此が爲め退却を餘儀なくされ、ケメル、カッセル間の全高地を捨てゝ總敗北となるか、或は此處に踏止まつて持ち耐へるか、唯一足の問題となつた。英軍の力は此の劍ノ峰に立つて驚くべき強靭を示した。十九日より二十日に亘つて急を救はんとして送られた佛の援軍約六七個師團は、鐵道に自動車に有ゆる速力を利用してケメル高地に到著した。援軍來!佛の強兵來る!英軍は遂に蘇生した。茲に於て戰鬪は一頓挫の姿となつた。アミアン既に十日にして挫折し、フランダースも亦十日にして頓挫す。茲に於て獨軍は更にアミアン、アラスの局部形戰線に向つて攻擊を開始せんとする氣勢を示して居る。一度、二度、今度が愈よ三度目である。獨軍の力は果して何時まで續くであらう。西部戰線大攻勢の成功は甚だ疑問となつて來た。

小公園を望む 市民の聲

山縣生

○小公園を多く造れといふ鄙說は少なからず京城市民の贊同を得たやうである。私は有力なる人々から、同意の旨を聞いたのみならず贊成を表せる書を數通受取つた。左に拔萃するは南薫生と名乘る人の寄書である

貴紙上山縣生の『小公園を多く造れ』の說は至極同感に存候。吾輩も多年京城に居住せる者にて最も此感を深くする一人に候。明治町の林王御所有の土地を此種の公園に寄附せらるゝ樣との希望を述べられしが、是は當事者の意見に因りて如何樣にも相成ることゝ存候に付、此際是非其筋の人々が御盡力あらんことを希望致候。更に吾輩は今回新に架設せられたる觀水橋附近に於て一の公園を設置せられんことを希望致候。曾て明石將軍が警務總長時代に黄金遊園附近を以て市の娛樂機關を設くる許可地として指定せられんとしたることあり。是は卓見と稱すべきものにて、現今の如く市内到る處に活動寫眞館浪曲其他の散在せしむるのは獨り市の體裁を損するのみならず衛生風紀火災等の取締上にも好ましからぬことにて、東京の淺草大阪の千日前の如く一地區に限りて各種の娛樂場を建設せしむることこそ蓋し今日の急務かと存候。それには觀水橋附近が市の中央に位し、一方は川に沿ひ又他の商業等に對し惡影響を與へざる地點なるを以て、最も適當ならんかと存候。依て先づ小公園を設け、更に北附近一帶を娛樂地として指定せられたらんには將來市の發展上に多大なる利便かと存候。山縣生の說を贊し併せて吾輩の希望を敍する次第に御座候

都市交通の爲めに

槐翁

○市區改正に伴ひ、京城市内の交通も、漸次面目を革めつゝあることは、喜ばしいことであるが、之に反して、近來電車の故障の非常に多いのは誠に遺憾に禁へぬ。殊に去る十一日舟橋町に於て、六つになる少女の轢死の如きは、屍體が車輪の間に挾つたので、之を取り出すに三四時間も掛つたと云ふ眞に悲慘なものであつた。

○電車の初めて京城に出來た時分は、線路も屈曲が多く、勾配も甚しく、今日のやうに一定の停留場があるではなし、殊に正月などの凧揚げ時節には、絲の切れて飛ぶ凧を奪い取らんが爲に、數十名の兒童が一團となつて、處かまはず驅出す時は、電車が來ようが何が來ようが、そんなものには目も吳れぬと云つたやうな有樣で、その當時の運轉手や車掌には、寧ろ同情すべき點もあつた。

○今日とその時代とを比較して見ると、當に雲泥の差ばかりではない。線路は改修されて、屈曲も勾配も少なくなり、警察は行屆いて通行の整理も出來、道往く人も亦それ程賢くなつたので、電車運轉の爲めには、これ程都合の好いことはない筈であるのに、事故の頻發するのは、抑も何の爲めであらうか。運轉手や車掌の職務に不忠實なことが、その原因を爲すことは爭はれぬ事實らしい。

○今その一例を擧ぐれば、昌慶苑の前の停留場である。此處に來ると運轉手どもが、必ず下に降り煙草を喫んで悠々と構へる。他の電車の來るのを見て、狽てゝ運轉を始める。遊んだ埋合せには全速力を出して疾走する。而して其の電車も、どの電車も、こんな風のことを繰り返す。餘り速力を出し過ぎた爲めに、停留場を三間も四間も突破することがある。それで乘客は驅足で追ひ付かねばならぬ。老人や子供連れのものゝ狼狽つたら無い。その他危險な實例は一二にして足らぬけれども、長くなるから茲には略するが、會社當局者の一考すべき事柄と思ふ。

○それにつけても思ふのは小公園である。京城には子供や老人に適當な遊び場所がないので、結局危險な場所で子供を遊ばせるとになる。市街の到る處に小公園が設けらるれば、この危險は無くなるに相違ない。吾人はこの意味に於て殊に山縣氏の提唱せる小公園の一日も早く實現せんことを希望して已まぬ。

◆落花

古賀稲雄筆

襟帶集(上)

複刻と其の由來

△古書珍籍の複刻刊行を以て當代に一異彩を放ち、江湖好學の士の淸賞措く能はざるところの、蘇峰學人の成簣堂叢書は、今回其の第十一篇として南浦文之和尚手鈔の『襟帶集』を刊行した。此書を手にして先づ第一に目新しく感ずるのは、既出の同叢書に比して、特に出色の大冊子であることである。既出の同叢書は從來半紙大の日本紙に印刷して來たものだが『襟帶集』は美濃判大であつて、見るからに重々しい感じがする。卷を披くと櫻泉居士小牧昌業氏撰毫の題簽がある。次ぎには南浦文之和尚自筆の書名と『此集者松源大惡無準派頭專多洞下少雜也』の文字と七言八句の平仄を現はしたものと、『文之書』の手署とがあつて、一見直ちに文之和尚其人の手鈔であることが明かに分る。

△此の『襟帶集』は其の名を江湖とも云ひ、宋末より元初に亙る高德知識の詩偈中より、後世の典型となるべき千古必傳のもの、少きは一二首、多きは五首づゝを精選して、上下の二卷となせるもので、我が日本に傳來したのは、足利初期の名僧大鑑淸拙禪師に依りてゞある。爾來禪に參ずる者、又た詩を學ぶ者が、是非とも此書を携へなければ恥であるかの如くに持囃し、行旅の際にも必ず之れを携帶し、隨處隨時に諷誦し、愛賞珍重措かなかつたので、何時しか『襟帶集』と名づけらるゝに至つたのである。

△さて此の『襟帶集』の手鈔者たる南浦文之和尚は、我國搢紳の文學が全く地に墜ちて振はざる安土桃山の間に崛起し、五山傳來の儒學の淵源を究め、島津家久公父子の知遇を受け、程朱の學を講ずること前後五十年の久しきに亙り、大に九州の士人を化導したのみか、遂に德川三百年文敎の根本を開いた高德であつて、四書新註の和訓の如きも、文之和尚の手に依つて大成せられたるものである。日本の儒學史上に於ける南浦の位地が藤原惺窩、林羅山よりも高いことはいふまでもない。

△文之和尚の親筆にして、今日世上に傳來するものは太だ少くして寶に數ふる程しか無い。此は明治維新の際に、排佛毀釋の厄に逢うて、玉石俱に焚かれたる結果で、其の一字一行を得るさへ容易ならず、好學者の愛惜措かぬところである。先年彼が數行の遺墨に千金を投じて惜まなかつた人あるが如き、其一例である。唯だ南浦が開構たりし曹大龍寺の什寶であつた南浦文集六卷のみは、曾て島津久光公に救ひ上げられて、公爵家の秘庫に納まつて居る。而して此の文集は門人如竹の手に成れる寛永二年の活字本と、中野道伴(多くの禪書祖錄を刊行して知れたる人)の上梓せる慶安の整刻本の二種がある。

乘六園 (幾堂) 長田 犀

正是櫻花爛漫時。來遊欣我不愆期。彩雲滿地爲誰落。(幾堂曰、騒壇之趣)春麗千枝又萬枝。(曾出如錦)

富士山 (鳥峰) 千種 頼三

秀靈雲表鍾。誰不仰芙蓉。千年雪。皓皓。巍巍萬仞峰。劍鋒衝日秀。蓮薬挿天重。衆嶽雖難算。眞成宇內宗。(幾堂曰、風格非凡、筆力雄健)

探梅書感(呈幾堂先生) 梁川 葵輪 芳

重上探梅霞浦舟。無端思起昔時游。笛聲吹動山陽感。花影乘牽金谷愁。空憶同行猶已杳。可憐十度幾方周。低徊鎭日尋陳跡。疎雨瀟瀟杜若洲。(自註先生同遊視南龍竹遊年隨遊山、故云 幾堂曰苦心慘憺使人凄然)

勿來關 竹香 樋口 敬之

古關春尋訪遺蹤。蒲地淸陰百丈松。追憶將軍停馬處。翠芦聲撼落花風。

宮苑所見 復洞 武田 白

鶯歌巧媛柳烟備。春入御溝春水廻。曉日櫻田門外路。驊騮一隊踏花來。(幾堂曰、復洞書史、早朝過宮苑、日可補東京風土記)

余得一石名曰小盧山賦 (雲亚) 田中 米仙

塊然一拳石。形勢自天工。山水存佳趣。恍看廬岳崇。奇巖僅盈尺。宛是小廬山。飛瀑一條白。雲烟常自閑。(幾堂曰尺石亦備大觀)

如意輪堂 (鶴部) 和田 世民

古陵春樹鎖煙霏。花散空階鳥語稀。忠烈梓弓歌一闋。山僧苦說鏃痕扉。

海樓觀日 (中泉) 伊藤 美

澎湃新潮打岸廻。春天靄色入樓臺。曉風依檻遥瞻望。一點金鴉出海來。(幾堂曰北觀可以壯吾懷也)

春山訪友 (洲) 伊奈 信一

靑山十里半煙霞。啼鳥聲迷萬樹花。不向樵夫尋徑路。老梅深處故人家。

中外新論

▼五月號大飛躍!!

◇支那の病源と救治策 (社說)
◇教育國本主義 文學博士 小西重直
◇戰爭の目的と出兵問題 鵜川博士
◇民本主義と教育 高島平三郎
◇婦人の軍事思想 佐藤中將
◇新法學博士十一人觀 白頭山人
◇政界の新人奇才 木舍蝦花
◇日支同盟に對する批判 牧野義智
◇日支教育提携 山川帝國大學總長、林長民、湯原女子高師學校長
春雨の一日 北原白秋
(美文と小說)
夢想 長谷川時雨
ある女教師 小山内薰
白日の戀 三津木貞子
東京市長田尻博士 仲小路農相、安達謙藏、島田三郎、床次竹次郎諸氏
古人今人伊東巳代治と石田三成
雅號から見た朝野の諸名士
吉野博士の時事論說五篇を讀みて其の根本的誤謬三十五項を指摘す 三井甲之
慶應早稻田兩大學論 早川鐵冶
◇最近の新進作家 岩野泡鳴
◇浮沈傳=金鯱雨晒の卷 子子子
◇當世虛榮質 青柳有美
◇過激派政府の狂暴と列國の被害 社說
振替東京三六〇五番 中外新論社

五月號出來!(美麗な極彩色寫眞版十數個入挿繪)
料理の友
國力充實と料理の改良(山脇博士)家庭の病人料理の理論と獻立
米の半價である新發見 家庭の經濟法
菖蒲の節句に家庭の獻立 柏餅と粽
安價で滋養ある乾魚料理 病人によい食物
手輕に出來る牛の美食法 毎日卅日分の料理獻立
大日本料理研究會

居乍ら完全に繪畫を修得せしむる 通信美術學校
第十二回新學期開始 新會員を募る
日本畫講義 洋畫講義 兩科とも一ヶ年卒業
東京本郷湯島六丁目 日本美術學院

婦人之友
虛榮生活寫實號
虛榮に詛はれたる實例
◇虛榮と虛榮の結婚の破綻
◇富める老人に嫁いだ娘の後半生
◇淪落の群に落ちた女事務員
◇吳服屋に借金した女學生
◇才氣のために一生を過つた娘
◇律義者の驚くべき虛榮沙汰
◇妻の虛榮から官金費消の大罪
◇老人の虛榮一家を惱ます
◇夫や子を棄てゝ家出した妻
体面と虛榮と 三宅博士
あこがるる心 羽仁もと子
質素なる交際の實例(十篇)
恐るべき子宮癌の警告 佐久間醫學士
主婦の讀物
西洋料理十回講義(三)
長篇小說 野茨(衝突の卷) 德田秋聲

朝鮮諸官廳受驗必讀 法律講義
京城高等普通學校敎諭 阪上綱吉先生著
京城日報代理部

魚釣具及投網卸賣 小吉備商會
京城永樂町

◎電話變更廣告
廢止電話 長二六番 七二四番
新設電話 長六〇〇七番
右の通り五月一日より變更致し候間此段謹告候
三井物産株式會社京城支店

電話變更廣告
廢止電話 長四四番
新設電話 長二六番
右の通り五月一日より變更致候間此段謹告候也
京城旭町一丁目一三三番地 高野省三

獨帝莫斯科行決定

佛國西伯の消息を聞くに獨逸皇帝は過激派を監視しレニン政府を改造し露獨單獨講和反對黨を鎭壓し且つ露國の現狀を調査する爲め自ら莫斯科に赴く事に決定せりと（北京特電）

セミョノフ軍破竹の勢

セミョノフ軍は連戰連勝の勢を以てチタ方面に向け前進し諸停車場を占領し貝加爾諸州民をして非常に恐怖せしめ居れり、同軍は二十日カルイムスカヤ附近にて二百五十名の墺太利俘虜及び赤衞軍との間に戰鬪を開き敵は其の翌日三十名の死傷を遺して退却し二十三日より二十四日に亘りセミョノフ軍の乘馬隊はハラール停車場を攻め二十三名の敵兵と機關砲一機關車二其他貨物車を捕獲したりと（哈爾賓特電）

獨軍ハンガール占領

佛國公報＝二十四日終日戰鬪繼續しハンガールは終に敵軍の爲め占領されたるも其他に於ける敵の猛襲は何れも我軍の爲め擊退されたり（巴里電報）

露獨政府に要求

露國發無電線の傳ふる處に據れば露國は獨逸政府に對して約言を求めたり即ち露國黒海艦隊が平和條約の條章を確守しセバストポール港に繫泊せる限り獨逸は該艦隊を捕獲し若くは是れに潜航艇の襲擊を加へざる可しと約せしめんとす獨逸は將さにセバストポールを封鎖せんとするもの丶如し（倫敦電報）

獨逸の和蘭引入策

ヘーグ元帥公報に曰く獨逸は敵國をして正式に和蘭植民地の占領を餘儀無からしめ斯くして和蘭を全然獨逸の掌中に投ぜしむるに至るが如き條件の承認を和蘭に强要し得べしと豫期しつゝあり（倫敦電報）

獨蘭國境に獨騎兵隊

ヘーグ來電＝獨逸騎兵の一隊はウエストファリア州獨蘭國境附近に現はれたり（香港電報）

辭令

二十七日附を以て左の通り辭令ありたり（東京特電）

臨時外交調査委員會委員男爵 後藤新平
臨時外交調査委員會幹事長被仰付

印度棉解合成立

二十七日入電に依れば印度棉二十五日孟買市場に於ける總受渡は七百十二ルーピーにて解合成立せり（大阪特電）

米麥粉解合成立

久しく紛糾中の米麥粉は四五箇月を通じ百三萬袋五圓五十錢にて解合成立せり（大阪特電）

紡績操短繼續

紡績操短七月一日以降六箇月間繼續の事に紡績聯合會にて二十七日決定せり但し二十一番手以上の錘數に對しては除外する事とし今後一箇月間更に熟議の上決すべし（大阪特電）

三浦梧樓子

山口縣に歸鄕中の三浦梧樓子は二十八日午後三時三十分下の關著二十九日迄同市春帆樓に滯在し三十日防府へ出發の豫定なり因に下の關市官民有志は山陽ホテルに於て同子の歡迎會開催の筈（門司特電）

將校見學團消息

本鄕聯隊區在鄕將校見學團一行三十名は二十七日遼陽より來奉同日各所を見學の上二十八日朝長春に向ひ更に三十日夜長春發奉天著一日朝安東に向ふ筈也（奉天特電）

朝鮮紡績事業の將來

田邊鮮紡常務談

朝鮮紡織株式會社常務田邊鮮也氏は二十七日南大門驛著入京したるが其の談に曰く

紡織會社設立に就いては各地共に熱心に歡迎して認可の指命が下ると同時に直ぐにも工事に著手するかの樣に取沙汰し甚しきに至ては◆鷺梁津を工場設置地と決定したかのやうに傳へられたが東京では未だ龍山とも木浦とも仁川とも決めてゐない第一動力を火力にするか水力にするかさへ決つて居らない、設立地は動力問題が解決してからの事である紡績機械も米國から輸入し得る見込みが早急に立たない程であるから戰爭で終熄を告げねば到底著手する事は出來まいと思ふ本邦に於ける紡績界の現狀は昨年一割の減錘に依つて辛ふじて需給を調節したが支那には綿絲の在貨が多いから◆更に減錘せねばならぬであらうと豫測されて居る將來は米國の如き戰爭の影響を受て成金が續出したため棉花栽培に關係した之等の成金は棉花を栽培して居るよりも他の方面に投資しやうと云ふ傾向があり耕作を廢めて了ふ者もあるやうな次第で其結果次第に生產額が減じはせまいかと憂慮されて居る印棉も又英國が戰後の經營として關稅を高く課して原棉の輸出を制限し製品として海外に迄り出す事を極力奬勵するであらうから萬一左樣な事が事實の上に現はれでもしやうものなら夫こそ本邦紡績界の◆致命傷で此時に至つて自作自給を騷ぎ出してもう遲い而己ならず日本では太絲を製出するのみであるが唯一の消費地なる支那の紡織業は年と共に盛んになつて行く許りであるから將來此れに對抗して行き得るか何うかは頗る疑問である朝鮮などでも棉絲布類の一年間の輸移入高は四萬圓以上に達するが棉花の生產高は需要高の三分の一に過ぎぬから棉絲布の鮮內需要を滿すには現在の耕地十萬町歩を三十萬町歩に擴張しなければならぬが耕地の必らずしも廣からぬ◆朝鮮に果して此丈けの擴張が出來るかどうかは疑問である斯く見來れば日本は何れかに向つて原料の供給を求め製品の販路を擴張せねばならぬが支那を措いて他に新しい天地を開拓する事は困難である其處で大陸進出の第一歩として朝鮮紡織會社は生れ出でたので戰爭の影響を蒙り今日の如き狀態のまゝで相當の時機が到來するのを待つて居らねばならぬのは遺憾の極みである

朝鮮と內地實業家

事情の周知されざるを遺憾とす

鈴木度支部長官談

予は東京滯在中、或日知名の實業家某氏の來訪を受けた、其際の話題は朝鮮に於ける產業に關するものであつたが、予は內地民間の有力なる人々に、未だ朝鮮の事情が周知されず、隨つて朝鮮に對する見解を▲大分誤つて居ることを認めない譯に行かなかつた、一例を擧ぐれば、總督府の南鮮地方に於ける陸地棉栽培奬勵にして、某氏は恁ういふ意見を述べた『朝鮮では餘り農民保護の手が行屆き過ぎて居る、棉作を奬勵するのに何も共同販賣など餘計なお世話を爲る必要はあるまい、總體產業の奬勵には商人に儲けさせねば不可ない、臺灣などでは大に商人に儲けさせた、儲けがあるから資本を放下する者も出て來る、朝鮮の樣に農民を保護するのは結構だが、之が爲めに商人の利益を殺ぐ樣では氣乘りがせぬ、結局奬勵の効果が薄いといふことに成るのだ』と、予は某氏が朝鮮の事情を詳知せない爲めに、斯る意見を▲臆面も無く吐露し得るのだと思つた、夫れで眞正面から其見解の誤れることを說破せんとするのは寧ろ無謀であると考へたから『兎も角一度朝鮮視察に來られては何うか、朝鮮には數千年來の古蹟が多い、京城は帝都として最も新らしい所であつたが、夫れすら李朝奠都以來五百年を經たものだ、御覽に成れば種々參考と成るものもあるであらう』とて、一千五百萬の人口を有し數千年の歷史を有する朝鮮と、歐洲列强の領有する未開の殖民地とは同一の筆法を以て統治すべきもので無いことを諷するに止めた、現內閣は、首相、藏相等▲朝鮮の事情に精通して居らるゝので萬事洽に好都合であることは前にも述べたが、之に反して有力なる實業家中に右の如き人があるのは、案外でもあり又遺憾にも感じた、斯の如きは決して某氏一人のみではあるまい何とかして早く朝鮮の事情を知らしめたい、知つて貰ひたいものである

露貨暴騰原因

前途尙ほ高見込 讀井外國課長談

客月來長春大連地方に於ける露貨相場は漸騰一方にて昨冬の如き金圓に對し八十留以上に暴落し居りしに爾來漸次持ち直して昨今は百圓に付▲三百卅留に昂騰し居り暴落氣勢の凄ましかりし如く其の擧は頗る意外の感あり右露貨暴騰原因に付鮮銀外國課長讀井源輔氏は曰く留相場の强調は予等にも豫想以上の事實なり但しその由つて來る所を案ずるに(一)長春哈爾賓大連に於ける露貨相場は一種の極東相場と云ふを適當とすべく之れを世界的の留價格より見れば甚しく低落に過ぎたり近時の持ち直しは一面に於て極東相場の滅失し漸次世界的相場に移れりと見るを得べし(二)に露獨單獨講和を好材料に數ふるを至當とすべし▲講和の內容 並に講和の條件等により露國の受くべき打擊は別とし兎に角露獨講和は一國民に一種安定の感を與へ更に露國の前途にも同樣の感を與へたり之れ留價の値上りを誘致せし所以に非ざるか(三)外國の留買附も一原因をなせしならん蓋し露貨の暴落底無しの狀態となるや外國殊に米國筋に於ける留の買入れ額は莫大なりき(四)昨冬來生產物の出廻りに對する國內運輸機關の整調に幾日に比し稍面目を革め樣樣にて自然その▲買出資金 等に留の需要を增加せりと見得べしその他レニン政府に對する世界的の信用等も其の組織當時に比すれば稍增進せしもの丶如く之等原因の相倚り相俟ちて露貨の昂騰を來せしなるべく尙ほ目下の所目先き低落の模樣なし從つて一時多額の留を抱き困難を避へたる人々も近來愁眉を披き居れるが要するに財界のためには最近露貨出來値の强調は慶して可ならん

山火事と當局

頃者頻々として各道に起る山火事に關し當局者の取締方針を聞くに每年春季に於ける朝鮮の山林火災は其全部を放火なりと云ふ能はざるも少なくも其大部分は故意に依る放火なるが放火犯人最初の意思は夜慣耕作上の必要より自己耕作面積の雜草を燒き拂ふ目的の下に放火を行ふもの多きも或は蕨等を採取せん目的を以て放火を爲すもの又尠なからずされど此の小目的の爲めに一大被害の主因を爲し或は立木を燒失し家屋を燒き或は人畜の死傷を出すに至りては其の弊害恐るべきものあり故に當局にては常に里民に向つて其非を論すと雖も容易に矯弊の實擧らず各地方官憲は强制的又は戒飭的手段として若し山林火災のありたる場合には其の附近住居の里民を集めて防火の任に當らしむることゝなしつゝあり其の効果は決して空しからず一朝火災の起りたる場合には如何なる要務をも放擲し防火の事に當らざるべからざると又連日に亘ることを以て彼等も今日は大いに自らを相戒め苟も過失なからんことを想ふに至れるが如くなりと

印度陰謀被告保釋

印度陰謀事件被告印度人二十九名に對し裁判所は三十日宣告の日迄各々二萬五千弗の保證金を納めしめ保釋を許せり（桑港電報）

第二次軍器借款成立乎

漢口會議に於て第二次軍器借款を成立せしむ可し但し〇〇〇〇二十一個條中の第五項に關するものに非ずと說明せり（北京電報）

外米管理令と臺鮮米

外米管理令に臺灣朝鮮米を含むとありしも差當り外米のみを以てし臺鮮米に及ぼさずと當局は語れり（大阪特電）

露貨換算率變更

滿鐵會社にては四月二十五日より南滿、東淸聯絡運賃に採用すべき日露貨幣換算率を百留に對し三十圓に變更せり

木浦保稅倉庫開設

木浦には從來保稅倉庫の設けなかりしも近年同地の貿易發展に伴ひ其必要を認め四月十六日より開設せるが之が利用者頗る多き見込也と

朝郵業務檢査

遞信事務官補成田勝虎同技師河野常八の兩氏は二十五日朝鮮郵船會社業務檢査を命ぜられたり

古海中將招宴

古海中將は憲兵隊司令官として二十八日午後七時朝鮮ホテルに於て晚餐會を開き目下道長官會議の爲め入京中の各道長官を招待す可しと

原田會長入京

朝鮮郵船會社取締役會長原田金之祐氏は二十七日午後九時南大門驛著列車にて入京せしが會社株主總會並に重要社務及び會計所要務を處理せし上三日朝若くは夜發五日までに東京著の豫定なりと

三國領事總理訪問

漢口駐在日英佛三國領事は二十四日段總理を訪問せり（北京電報）

田邊中村兩氏入京

朝鮮紡織會社田邊常務は前總督府技師にして同社囑託たる中村彥氏同伴二十七日午後九時南大門驛著列車にて入京約一箇月滯在の筈

警察官異動

四月二十六日附を以て警察官に左記の如く異動あり

新任地	舊任地	氏名
補鐵山署長	仁川署警部	及川敏夫
仁川署勤務	平北警務部	高崎文次郎
平北警務部	鐵山署長同	久山治郎吉
釜山警務署	新任同	馬場猛郎

人の噂

▲永沼中將 廿七日夜入京已城館へ ▲正木多吉氏（東京實業家） 同上天眞樓へ ▲富山榮吉氏（東京實業家） 同上 ▲中野淑雄氏（朝鮮銀行大邱支店長） 同上不知火旅館へ ▲阿部充家氏（本社々長） 廿七日夜歸京 ▲高野佐三郎氏（劍道師範） 廿七日夜入京山本旅館へ

百聞百種

米國では『殺せ、カイゼル』といふ言葉が大流行ださうな、品物を買ひに行つては『これは高いね、キル◎カイゼル』『いゝね大變安いんですよ、キル◎カイゼル』といつた調子だ日本で『何んて間が惡いでせう』といふのと同じコッたさうだ▲今此の頃の露都では何でも彼でも欲しいと思ふものがあれば力づくで强奪する▲うつかり電車の中へ金線の眼鏡でもかけて乘り込まうものなら片端からアンだくられる▲この間も或る男が或る男の金時計を强奪しようとした所が、あべこべに取つて押へられ、其取つて押へた男は電車が鐵橋の上へ來ると車掌に停車を命じ、件の泥棒をザンブと許り河中に投じて手輕な死刑を斷行すると、乘客一同が萬歲を三唱する▲何喰はぬ顏で電車が又動き出すと云ふ調子だ▲新任內務大臣水野錬太郎博士の產聲を揚げた場所はお江戶兩國だが嚴父水野立三郎氏が舊佐竹藩の秋田に生れたので同氏も遂に秋田出身者の一人として數へられて來た▲乃で今度大臣になつたので同縣出身者は秋田出身の國務大臣を出したとお國自慢をして居る▲秋田は昔は平田篤胤、佐藤信淵の碩學を出し近くは故根本通明博士、大島久直大將などを出したが國務大臣は全く水野博士を以て嚆矢とする▲水野新內相は年十七になつたお孃さんを失くした時、阿母さんよりも自分で涙を流して泣いた、書齋には其お孃さんの姿を收めたアルバムを措いてその話しになると水野さんは涙ぐんで來る

大阪財界便り

▲綿糸暴落影響 米棉の暴[illegible]

思ひしに或は再び今後の暴落を考へ暫く形勢觀望の狀にて賣需起らざるが一方內地向夏綿織物は目下[illegible]

會社の歐洲航路には定期船の外臨時船として鳥取富山の二船を配せられ居れるが然し富山丸は我國上[illegible]運賃七百五十志を千志に引上ぐるに至るべき事は既報の如く神戸の三八會橫濱の三五會の運動によ[illegible]後に於ける歐航は該運賃の昂騰に正比例して物價の昂騰するか然らざれば定期船の配船增加するにあ[illegible]て物價早急に高値に買進む事態はざるは明瞭なるを以て我對歐輸運界の該運賃の引上げよりして或る[illegible]

十七圓方上向きグードミットグ先物は五六圓臺の高値に上りたるが今回西部戰局の聯合側に不利[illegible]更に十一日より大暴落の傾向を示しくなり十一日二圓三十錢十二日二圓五十錢十三日二圓五十錢の暴落るものにて斯く暴落は稀有の事なる爲め綿糸相場に大影響を與へたるが十七日の紐育十六日入電は[illegible]

法人登記公告

遂安地方金融組合變更事項
一出資ノ總口數參百五拾四口
一拂込ミタル出資ノ總額金壹千五百七拾圓五拾八錢
右大正七年四月二十二日登記
海州地方法院遂安出張所

商業登記公告

株式會社朝鮮商業銀行（變更）大正七年四月一日南大門支店ヲ京城府南大門通五丁目參番地ニ移轉シタリ
右大正七年四月二十五日登記
京城地方法院平澤出張所

法人登記公告

安城地方金融組合登記事項中出資ノ總口數ヲ六百九口拂込ミタル出資ノ總額ヲ金貳千百七拾貳圓五拾錢五厘ト變更ス
右大正七年四月貳拾六日登記
京城地方法院安城出張所

法人登記公告

漣川地方金融組合組合長鄭容漢任期滿了ニ付大正七年四月貳拾貳日定時總會ニ於テ改選ノ結果重任ス
右大正七年四月貳拾六日登記
京城地方法院漣川出張所

配當案公告

李王均破產事件ニ付大正七年四月二十一日管財人星田正一郎ノ作成シタル配當案ハ之ヲ認可シ公衆ノ閲覽ニ供スル爲メ當法院ニ備置ク
右公告ス
大正七年四月二十七日
京城地方法院

商業登記公告

支配人選任。支配人ノ氏名住所京城府鍾雲洞百九拾五番地白鍾[illegible]支配人ヲ置キタル場所京城府南大門通壹丁目拾四番地株式會社漢城銀行支配人ヲ置キタル場所主人ノ住所ニ同シ
主人株式會社漢城銀行ハ大正七年四月貳拾貳日支配人張弘植ヲ解任シタリ
株式會社京城銀行ハ大正七年四月拾七日各株ニ付金貳圓五拾錢宛拂込ヲ結了シ各株ノ拂込金額ヲ金貳拾圓ト變更シタリ
右大正七年四月貳拾貳日登記
商號『信行商會』ノ使用者金奭圭ハ大正七年參月拾參日商號ヲ廢止シタリ
商號新設。商號信行商會、營業ノ種類金銀細工製造販賣、營業所京城府南大門通貳丁目百五拾番地、商號使用者ノ氏名住所京城府南大門通貳丁目百五拾番地金奭圭
商號光潤桑、營業ノ種類穀物貿易、營業所京城府桃花洞四拾九番地、商號使用者ノ氏名住所京城府桃花洞四拾九番地崔儀英
三井物產株式會社ハ大正七年四月拾八日非律賓馬尼剌ビノンド『ロサリオ』第九拾番ノ支店ヲ非律賓群島馬尼剌ビノンド『アンヘル』ナ第八拾番ニ支那共和國[illegible]支店ヲ支那共和國[illegible]ニ各移轉シタリ
同會社監查役北村七郎ハ大正七年四月貳拾日其ノ住所ヲ東京府北豐島郡日暮里町大字金杉百九拾六番地ニ移轉シタリ
株式會社朝鮮商業銀行ハ大正七年四月拾四日京城府古市町支店ヲ京城府南大門通五丁目參番地ニ移轉シタリ
右大正七年四月貳拾參日登記
京城隆興株式會社取締役朴泓鉉ハ大正七年四月七日辭任シ同日京城府瑞麟洞九拾六番地[illegible]宗錫ハ同日取締役ニ就任シ京城府[illegible]町八拾四番地金東揆及京城府茶屋町[illegible]ハ監查役ニ選任シタリ
右大正七年四月貳拾四日登記
京城地方法院

謹告

謹啓時下春陽の候各位益々御隆盛の段奉大慶候每々御引立を蒙り難有御禮申上候陳者今回吾等京城金物商組合員中左記の者申合毎月一日定期休業致事に決議仕候就ては來る五月一日より實行可致候條何卒御承諾置被下度此段謹告仕候

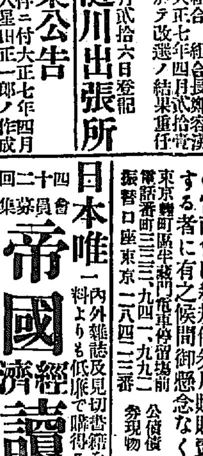
＝（いろは順）＝

京城本町一丁目 土木建築金物商 井原京城支店
同 本町一丁目 金物雜貨商 橋口卯作商店
同 南大門通二丁目 ペンキ器械商 堀田又京城支店
同 南大門通四丁目 鐵鋼商 德本京城支店
同 南大門通五丁目 機械工具商 中村幸商店
同 本町二丁目 金物銅鐵商 釘本藤次郎本店
同 南大門通二丁目 土工具商 益永啓一商店
同 南大門通三丁目 銅鐵商 福田又京城支店
同 本町三丁目 土木建築金物商 近藤安吉商店
同 本町三丁目 土工建築金物商 佐藤牛次郎商店
同 本町一丁目 土工建築金物商 佐野彥藏商店
同 南大門通二丁目 鐵機械商 合資會社南方商店
同 南大門通五丁目 鐵機械商 白神京城支店
同 南大門通五丁目 土木建築金物商 毛利辰二郎商店

御待兼の五月新音譜賣出

落語 歌馬天狗 喜多六太
義太夫 野崎村（奧） 豐竹呂昇
太神樂 三人滑稽、五 鏡の家三新
日浪花節 鏡の家三新坊
同 一ッ谷の曲 日の出家小雀三
長唄 機帶 芳村孝次郎 新右衛門
ヴァイオリンピアノ 野崎村 近藤 山崎榮二郎
一中節 勸進帳 菅野序遊
大阪落語 稽古屋 大阪立花家花橘

日本蓄音器商會 京城本町二丁目二九 電話一八三 振替京城六八四



四十二回 會員募集 特色
帝國經濟讀書會
日本唯一 內外雜誌及見切書籍を貸本料よりも低廉で購得る機關
會費僅一ヶ月二十錢 入會金三十錢 大正三年一月創立 會則郵券三錢
會員には每月特價月報及び景品（日本二部殘送品）の無代進呈品あり今回の入會者に限り一ヶ年前納入會金共一圓五十錢（四月新聞雜誌）老若男女少年少女何人も入會し得經濟的讀書家の理想最良讀書法
本部 橫濱市南吉田町九西 電話八百六十九番 振替東京三八三五八番

代理店募集
各地方に相當資產信用を持續する人に限り認定す希望者は郵券三錢封入照會あれ
當商會は新規債券月賦販賣業取締規則の資格を有する者に有之候間御懸念なく御取引被下度候
東京麹町區平河町電車停留場前 電話番町三三三、九四一、九九二 振替口座東京一八四一三番
公債 問 券現物 屋 永島商會

賣買値段

種別	賣値	買値
二三、二四、二五	[illegible]	[illegible]
二六、二八、三〇、三三	[illegible]	[illegible]
△二七、△三一	[illegible]	[illegible]
三五△三七	[illegible]	[illegible]
二九、四七	[illegible]	[illegible]
△四四	[illegible]	[illegible]
四八、五四	[illegible]	[illegible]
四九、六三	[illegible]	[illegible]
五〇	[illegible]	[illegible]
△五二、五八	[illegible]	[illegible]
六四	[illegible]	[illegible]
六五、六六	[illegible]	[illegible]
六七	[illegible]	[illegible]
△六八	[illegible]	[illegible]
四五、六△四二	[illegible]	[illegible]
七八、十二、十四	[illegible]	[illegible]

種類	賣値	買値
△十△十一△十三	[illegible]	[illegible]
九、四一、四三	[illegible]	[illegible]
三八	[illegible]	[illegible]
二九	[illegible]	[illegible]
五五	[illegible]	[illegible]
十五、十七	[illegible]	[illegible]
十六、十八、廿、廿二	[illegible]	[illegible]
△十九	[illegible]	[illegible]
二十二	[illegible]	[illegible]
い、ね、を、へ	[illegible]	[illegible]
ろ、は、に	[illegible]	[illegible]
△ほ	[illegible]	[illegible]
さ	[illegible]	[illegible]
ち	[illegible]	[illegible]
り	[illegible]	[illegible]
△る	[illegible]	[illegible]

債券送料二十錢要す尙郵替即時受拂（他店と御比較願ひ）

勸業貯蓄債券（安く賣ます 高く買ます）（代金引替著荷次第）
◎六十八回新券月賦販賣（營業案內御入用の方は御申越次第差上ます）
初回壹圓五拾錢（御拂込あれば番號直に御通知致ます）
弊商會は左記賣買直段に確實に御取引可申候

內科 呼吸器病 胃腸病 小兒科 婦人病
京城若草町大通り 今村醫院 電話一八三一番

……三十圓臺となりし爲め支那印度方面の相場よりも低落の關係となりたれば彼地市場買思惑あること〻是亦今後の相場を考へ安値に買進ます却て一時鈍狀を呈し居れりと

▲歐航前途の疑問

[illegible]れるが故近く米國へ引渡の上之れに代る臨時船を配船せらるゝに至るならんも來五月より目下の配船見るに至らざるは必せり……荷主の滿足するに足るべき妥協を……合より往航荷物の減少を見るに至るべきは明白なり定期船の配船増加並に歐洲商人の運賃高に比例し……も測り知れざるものゝ如し

▲米棉大暴落節道

米棉相場は本年一月以來三箇月の間約……五日間に……

◆入京せる永沼陸軍中將（廿七日夜南大門驛にて）

戰友の墳を訪うて
＝涙を禁ずる事が出來なかつた＝
▽滿蒙の開發　永沼中將談

帝國在郷軍人會理事永沼中將は既報の通り二十七日午後七時二十八分南大門驛著列車にて入京せり氏は車中に出迎へし記者に語つて曰く「滿蒙の開發だとか何とか言ふ事はお互ひが歩調を一にして皇國の勢力を進展せしむると言ふ

▽國家的觀念の下

に其方針を統一しなければ得て望み難い事でありいくら投資家でも如何なる方面に如何なる方法を以つて放資すべきかすら判らない事になる滿蒙開發の要は國民の一致協力に俟たねばならぬと思ふのである今度は三月に神戸を出發して海路大連に向ひ旅順、奉天、長春、鄭家屯方面を歩いて殆んど困憊した自分の體だつて鐵石ではないからね……實際一二日の休養が欲しい彼方では

▽汽車の中でまで

吸入器の御厄介になつて咽喉を用心せねばならぬ位ゐ毎日々々喋舌りつゞけたざうかすると一日に二回も講演を行らなければならなかつた位ゐである此の間に於て感じた事等も多々あるけれど其れは吾輩の講演を聽けば分る事だ』と將軍は大笑した汽車が一山驛を過ぐる頃は國澤京畿道警務部長其他の出迎へによつて車中は

▽日露戰爭當時の

懷舊談に花が咲いた元來將軍這回の旅行は講演をすると言ふ目的と滿蒙地方視察と言ふ目的と及び日露戰爭當時に於ける將軍の戰友を地下に弔慰せんとの目的があつたのである奉天會戰の當時將軍は弘前の騎兵第八聯隊長として騎兵約二百を率ゐ別動隊として敵の後方を衝き偉勲を奏したと云ふ事は有名な話しとなつて居る『其の時の戰友下士以下

▽十八名の戰歿者

の墳墓を此度訪問して來たよ昔は高かつた所も低くなり自然の力によつて多少の變化があつた墳を掘つて見ると防寒靴とか足の骨とか顎の骨等が出て來た時はどうしても涙を禁ずる事が出來なかつた」と悄然と語り終つて將軍は次の樣な俳句と和歌を詠まれた

○遺骨掘るや防寒靴も出にけり

○吾れならで誰か訪ふべき蒙古地の奥に埋れる亡き友の墳

今日の日曜を逸すな
櫻花滿開の牛耳洞に開催の
本紙讀者慰安觀櫻大會の賑ひ

▽……花下にてありだけの歡樂をつくして

▽……歸りにはいろ〳〵の景品のお土産

本社主催の讀者慰安觀櫻會はいよ〳〵今二十八日を以て牛耳洞に開催することになりました、牛耳洞の花の幾部分は少し盛りは過ぎましたけれども

◇今滿開の見頃◇

の櫻も大分あつて、京城市民の觀賞には十分であります、牛耳洞に於ける種々の催し物及び餘興等は別項社告の通りでありまして何れも

◇多大の喝采を◇

博することゝ思ひます、それに寶探しや煙火の中から現はれる景品の如きは實に數千點に達して居つて花と種々の餘興にありだけの歡樂を盡した

◇歸りには種々◇

の景品がお土産物として皆さんの手に持ち切れないほど握らるることゝ思ひます殊に今日の牛耳洞は京城の市民が殆んど全部出盡す位に出ることゝ思ひますから

◇空前の賑ひを◇

呈することゝ思ひます、遲く來て早く逝く朝鮮の春は慌しくも過ぎ去つて行かうとしてゐます、けふの日曜を逸しては春の

◇歡樂に醉ふ機會◇

は參るまいと思ひます、働く時には大に働き遊ぶ時には大いに遊ぶのが現代人の理想です、さらばけふの日曜は大いに遊ばうではありませんか

◇おいでなさい◇

牛耳洞へ、花の命は短かいもの、けふを逸しては今年の牛耳洞の花には又と逢はれますまい

讀者慰安牛耳洞觀櫻會愈々本日

餘興（內鮮藝妓百名參加、舞踊、寶探し、景品入煙花の打揚、綱渡り、馬鹿囃子、博多仁輪加、野外劇、樂隊、お伽大會

景品（銀側時計、セル、英ネル反物、本社銀メタル、帽子、ハンカチ、サツポロビール、シトロン卷煙草其の他日用品數千

▲汽車の便
▽倉洞驛行が ▽今日は五回ある

滿鐵京城管理局では二十八日牛耳洞觀櫻客のために午前中臨時列車を二回普通列車を一回運轉（午後にも一時二十分發がある）してその乘客には車內に於いて管理局が特に造つた牛耳洞の繪葉書を與れます牛耳洞の往復賃金は二等八十錢三等四十五錢で子供はその半額であります、臨時列車にはサッポロビール會社の馬鹿囃子の一隊同社の京城三券番の半玉十八人組が揃ひの著物に日傘を持つて乘込むのもあります往復の發著時間は左の通りです

◆往き ▲南大門發 午前八時五十一分、同九時三十分、同十時五十分、午後一時二十分、同四時五十四分▲倉洞著 午前九時三十八分、同十時十九分、同十一時四十一分、午後二時二十六分、同五時四十二分

◆還り ▲倉洞發 午前九時五十分、同十時五十九分、午後三時四十五分、同四時二十三分、同六時五五分、同十時卅六分▲南大門著 午前十時三十六分、午後零時八分、午後四時四十分、同五時十分、同七時、同十一時四十分

失敗して縊死す

大阪市道修町二丁目洋酒問屋兼三等郵便局長小西三次郎は二十七日午前三時頃自宅に於て縊死を遂げたり原因は商業の失敗より精神に異狀を來したる爲なりと（大阪特電）

「御機嫌好う……」＝九州視察團一行の南大門驛歸著＝

後藤男夫人の葬儀
會葬者五千名

外務大臣後藤（新平）男夫人かず子刀自の葬儀は途中葬列を廢し廿七日午前十時青山齋場にて佛式に依り執行せり導師佐藤哲學士は衆僧を隨へ諸經引導の式あり次いで閑院宮殿下御使北白川宮御使の御代拜あり終りて後藤男の燒香に次ぎ喪主一藏氏、親戚伊澤伯、安場男及び親近者多數の燒香あり次に會葬者順次燒香を爲し同十一時四十分式を終りしが當日は各宮殿下、各大使、公使內外貴紳よりの花輪數百臺に達し朝野の會葬者五千名を超ゆ空前の盛儀なりき（東京特電）

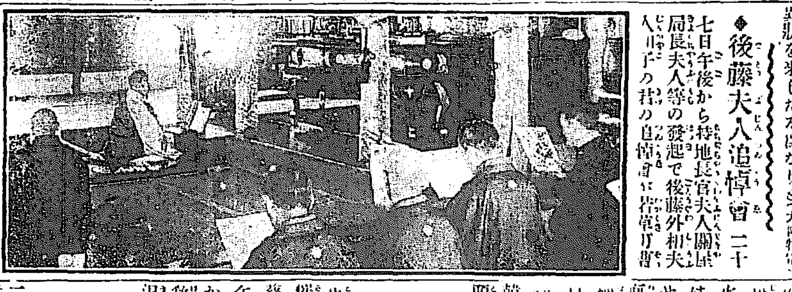
永沼中將講演會

永沼中將の京城以南に於ける在郷軍人會に關する講演日取左の如し

▲四月二十九日午後大田▲同三十日午後大邱▲五月一日午後馬山▲同二日午後釜山　但五月一日の馬山二日の釜山は未確定也

◆後藤夫人追悼會

二十七日午後から持地長官夫人關屋局長夫人等の發起で後藤外相夫人和子の君の追悼會が曹洞宗別院で盛大に執行された正面には『後藤和子夫人之靈』と記した木の香新らしい位牌を安置し山のやうな供物色とり〴〵の美はしいお花の間から香の煙が縷のやうに立ち昇る數多の參列者の中には持地遞信局長、關屋學務局長、久保人事課長、入澤京畿道第一部長などの顏も見ゆる追悼會は正三時開始の筈のところ三十分遲れて三時半となり先づ僧侶の讀經があるが或は高く或は低く殷々として響く讀經の聲は鼕なからず參列者の哀愁を喚り水を打つたるが如き湛やかな氣分は滿場に漂ふたが軈て持地長官を首め參列者一同の燒香があつて四時全く終了を告げた空しく冷れた夫人の靈も嘸ぞ滿足であらう



永洞の火災
二十五棟全燒＝二名燒死す

忠北永同郡永同面堂谷里丙奎龍方より十九日午前十時頃發火し同部落十六戶二十一棟を全燒し同日午後七時頃鎭火せり損害九百八十圓原因は奎龍妻梁姓（三〇）が炊事の焚火中強風の爲め失火し遂に大事に及びたるものなりと云ふ此の火災にて類燒したる崔在根方にては長男益洙（六）が無慘の燒死をなせり又十八日午後五時三十分頃同面稽山里李敬伯方より失火五戶四棟を全燒し同八時鎭火せり損害五百五十圓原因は敬伯妻高氏（六〇）が焚火中外出したる隙に發火罹災者韓仁順孫娘福仁（六）及び同家豚二頭燒死す

判決一束

[illegible]

慈善音樂會
非常なる盛況

東京音樂學校教授小倉末子女史主催朝鮮教化事業寄附を目的とする慈善音樂會は既報の如く二十七日午後零時三十分より帝國劇場に開かれ同女史柳兼子夫人、クローン教授等數番の演奏あり非常なる盛況の裡に日出度終了せり（東京特電）

稷山鑛毒事件落著

京釜線成歡驛を中心として四月初旬以來紛擾しつゝありし稷山鑛山の鑛毒事件は上林道長官以下道廳郡衙吏員の斡旋奔走により去る二十日忠淸南道廳に於て上林長官と稷山鑛業株式會社代表支配人マーチン氏萬原スコット兩支配人との間に本件に關する覺書を交換して圓滿なる解決を告げたり

◉訂正

二十六日夕刊二面欄「狂犬が京城の市中に」と題する記事中「……」とあるは……の誤りに付き訂正す

鮮銀の野遊會延期

朝鮮銀行にては二十八日野遊會擧行の筈なりしも都合上五月五日に延期せり

支那人我郵便物を奪ふ

二十六日午後八時數名の支那人は長春北門街日本人料理店前を通行中の我が郵便配達夫中尾某を包圍し袋叩きに遭はしたる上携帶の郵便物二十通を奪ひ逃亡せり（急報）

花の南國から
無事で歸つた九州視察團
＝歸つた人は皆赫ちやけて大元氣　驛頭は出迎人で大雜沓＝

京城は花には未だ稍早かつた四月十五日を以て南大門驛を出發した京城日報並に毎日申報兩社主催の九州視察團の中南鮮の一團を除いた京城以北の一行は團員一名の

□落伍者も無く連日の行動を豫定通りに遂行して二十七日午後九時南大門驛に無事歸著した驛では著車定刻前既に出迎への人々を以て大雜沓を極め銀行會社等の一團を初め朝鮮人側では大正俱樂部、老人稧、の幹部から

□高張提灯を翳して各券番の妓生連迄ホームにぎつしり詰めの勢で出迎へて居ると、威勢よく著驛した列車から吐出された團員の一行が手荷物を後や先きにと出て來る、降りて來た人々の顏は花と新緑の

□南國を廻つただけに皆々顏が赫ちやけてゐて殊更に元氣さうに見ゐる、プラットホームは歸つた人と迎ふる人數とで一しきりの賑ひ、方々で握手が交はされるやら『ヤアお勞れ、御機嫌よう』『お歸りでお目出度う』と

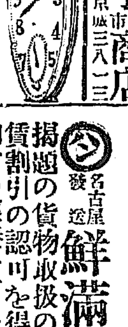
□交驩の言葉が 聞ねてゐると、俄かにパッとマグネシユームが輝いて本社寫眞部員が撮影する、斯くて團員は貴賓室から出て行くと京城日報、毎日申報の大提灯を先頭にして夫れ〴〵落ち著く先き、落ち著いた

朝鮮總督府

一石炭切込　貳百噸　右購買ス詳細ハ四月廿九日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

歸省中ノ處歸城從前通り診療從事致候
ドクトル 和田八千穗
診療時間午後三時ゟ同六時迄

鐵道拂下品販賣
▲衣服、股引、手袋、靴下類一切
▲鐵道局特製品賣出、向、細セル、春廣三揃、徳用品見せる
春廣三揃並に詰襟、細ヘル及改良半ズボン、スコッチ詰襟折襟洋服其他新調品特に勉強御相談に可應候
▲中古品洋服類一切
新古男女御衣裳多數取揃有之候
條不拘多少御注文奉願上候
諸官衙拂下品和服洋服商
龍山一二丁目町 金子商店
電話長一〇五番振替京城三八三



貴紳士用實用懷中時計大安賣
◎十八金側片硝子懷中時計 參百圓まで 參拾參圓より
其他貴金屬裝身具一式有之候地方御注文は代金引替小包郵便にて御送附申上候間御用命願上候
京城本町貳丁目 村木時計舖
電話四七壹番
振替京城三二九〇
ステツキもあります

コロタイプ印刷
繪葉書製造、諸記念寫眞帖
龍山漢江通八（電話五三六番）
門田寫眞製版所

京日案內
普通一回前金五十錢（一番外一回前金（但五十字迄）四圓（但五十字迄）に拾錢増し）
▲申込後中途掲載中止の節は料金不返戻
▲六回以上の御申込は特に割引のこと
▲御照會は返信附にあらざれば回答せず
▲御照會は必ず數字の番號御記入なさるべし

普通
專賣特許癩病根本治療器販賣募集員拾名募集す京城本町二丁目浦尾前朝鮮新療法研究所 28
店員入用 十七八歲以上廿五歲迄 新龍山電車終點前 龜屋雜貨店 27
看護婦至急入用 希望者は本人至急來談あれ 龍山元町一丁目 幾野內科醫院
▲外交係至急募集 希望者は履歷書送れ面會日通知す 京城長谷川町八六 西崎方 29
▲看護婦及見習生募集す希望ネは本人至急、委細の事 京城本町三丁目 安部醫院 19
經驗ある帳場店員並名募集す但し確實なる保證人を要す 京城旭町 川西食料品店 15

番外
勸業債券高價買入
六十八回新債券賣出し、當債券と御交換も可致候 大平通一ノ一三 朝鮮產業社 電話二七九三番 17

○ほねつぎ うちみ くじき
一切の治療御依賴に應ず
明治町 柔術道場 611

內勤社員採用 男女不問
希望者は履歷書携帶來社あれ
京城黃金町一丁目一八五 蓬萊生命朝鮮支部 22

中元源五郎氏は本日限り弊社と一切關係無之候に付今後は總て左記へ御引合被下度願上候
大正七年四月廿七日
東京市麴町區有樂町一丁目一番地
バブコック、エンド、ウヰルコックス株式會社
今般バブコック、エンド、ウヰルコックス會社ㇼ京總支店と合議の結果本日限り退社仕り候此段謹告候也
四月二十八日 中元源五郎

名古屋發送 鮮滿行割引運賃
揭題の貨物取扱の爲め明治四十二年以降運賃割引の認可を得取扱致居候
相當の經歷を有し居り各位の御高庇に依り逐次扱量の增加を來したるは弊社の光榮とする處にして感謝に不絕候爾後取扱向十分に注意を加へ迅速鄭重に扱料も出精可致候間何卒御指命被成下度奉願候
名古屋に於ける御取引の復調事項は無料調查御報告可致候間無御遠慮御申附被下度候
名古屋驛前（運送通關取扱業）
合資會社 鮮滿運搬部
電話（三三三、三三七）電信略號（ハ〇六、二八〇）

廣告
夜市 五月壹日 開店
出店者は場所柄非常の好人氣に付二十八日に『〆切り』候故申込者はヲクレヌ樣一日も早く申込あれ
若草町夜市事務所

難病者の福音 哲理治療開始
精神哲學の原理に則り諸種の疾病を治療す如何なる難病者も試よ不治と斷定せし難病重患も全快せし實例あり
京城府明治町二丁目小川旅館方
健全哲學館大學朝鮮分館長 江藤旭洲
○治療時間 毎日午前八時より午後九時迄
○治療費 前納 一回金五十錢 一週間金三圓 一ケ月金拾圓

花吹雪

大阪　中谷青霞

（十四）

『兵馬殿、お身はそれで唐土まで此儘に、、退いてお歸りやる氣か。』

と柳川は蛇となつて兵馬の方を見た。

『いゝや。』

と兵馬は頭を振つて、

『唐土には今日と云ふ今日、面を立てさせねばいかな歸らぬ、さゝ唐土つと突へ出て返答おしやれ。』

『まだ御用がござりまするか、お茶の御用ならば今參らせまする。』

と唐土は簾子にかゝつた儘、見向きもせぬ、袱紗捌きの音して茶碗は主税之助が屛風の彼方に差出された。

『眠れ唐土……。』

と兵馬は又もや激して

『武士たるものを嘲弄するも高が遊女と思ひ赦して置けば樣々の翻弄、最早勘忍ならぬ、覺悟せい、亭主の面前で命と釣替へに思ふさま映ざかして遣る、さゝ柳川引立てゝお來やれ。』

と突立上つて拳をブル／＼と慄はせる。

最早情夫客どのには用はない、唐土さ來よ。』

と柳川は簾子の方に立かゝる。

『この部屋で狼藉は赦さぬが、合點でござるか。』

と了俊。

『お身に迷惑はかけぬ、唐土を引立てゝ此方で遂引するまでぢや。』

『ならば其樣に……。』

『さ、來よ。』

と兩人は唐土の頸筋掴んで引立てやうとする。

『ねゝ何となされますお二人樣。』

と突然この時つか／＼と入り來つたは宿の亭主藤吉。

『やお身は亭主、何とするとは云ふまでもない、この部屋離れて眺と男を立てるまでぢや。』

『なりませぬ、唐土は黄金のかゝつた身、三文一文の揚代も未だ頂かぬ貴君方に、指一本さゝせませぬ、何となされます香雨樣、お放しなされませ。』

と摑んだ手を拂ひのける。

『亭主、命呉れう可い程に取れ。』

と兵馬は懐ろの紫羅紗の紙入から、ばら／＼と五六枚山吹色を投げ出す。

『云ひ分ないか……。』

『いゝ此場に臨んで其揚代頂きませぬ。』

『ならば何とする。』

『お退き取を願ひますまで……。』

『では飽くまで我等が男を踏む氣ぢやな。』

と兵馬は鋭く亭主を睨らまへる。

『これ亭主、さう野暮はお云やらぬが可い、今この了俊が申した事をお聞きやつて、預けうとまであつた二人ぢや、兎もあれお二人を座敷へ伴ひ、追つて此方から唐土を遣すまで、お待ちやるやうに申したが可からうづ。』

と亭主はホッと一息して立上る。兵馬も今は爭ふ術もない。

『亭主案內せい、柳川兎まれ一先づ座敷を替へやう。』

と已むなく怒りの儘つと廊下口に出る。

『なれば唐土は了俊に暫時預けた亭主來よ。』

と柳川も餘儀なく續く、亭主は小判を拾ひ寄せ、共に出て行くを見送つて了俊ハタと襖を立て切り。

『はゝゝ、つがもない、腰拔共に興を覺まされたわ。』

カラ／＼と高笑ひした。

日報俳壇

春季雜詠

卒業の式酣や風光る　復じ
大試驗卒へて戻るや桃の宿　同
端然と澄ましておはす雛哉　同
美しく著かざりし兒や雛の宿　同
遲々として歩む牛や花菜風　同
來客も知らで春閑む遲日哉　同
草丘にいざよふ春の夕日哉　同
積藁に雀話せる春田哉　翠虹
水溜りに物の芽寒き春田哉　同
春寒く酒壺に親しむ爐邊哉　山紫扶
水匂ふ旭に躍る田螺哉　同
摘草の袂に募る野風かな　偏仁
芽柳に傘の水切る戸口かな　草錢
大楠の乾く牧場や暖かき　二星
栗鼠の棲む楢の洞や木の芽風　柴光
峰の尾に聳ゆる塔や春の雲　要村
雨霽の午後を高啼く雲雀哉　露猿
春淺大江に炊ぐ小舟かな　緑章
春の灯の明るき寮の二階哉　松月
春雨の街を隔てゝ電話哉　狩人
陽炎へる瀬に馬洗ふ眞晝哉　織朗
麗かな山の底なる舊都哉　山紫扶
浴場の曬彩る灯し哉　同
小盤の声が芽を吹く昔齋哉　同
土手の凹みに旭流るゝ声の角　同
朗から夜は明けて春の雲朗ら　同
春の田面雪遊ぶ如く降りにけり　翠虹
春寒の大地や雲の走る影　同
氷解けて沼底青き眞晝哉　同
潮の色に春知る燈臺看守哉　同
春潮に聽へて遠き暮鐘哉　同
農具肩に押入る木戸や月の梅　田打夫
亭後の梅舎に來て憩ひけり　同
四五棟を持ちて梅咲く寺廓哉　同
灯す間の色あるは瓶の白椿　同
泥舟は乾きて沼の芽芦哉　關川子
芦の芽に芥押し來る潮かな　同
今日釣場に見知る人數や芦の角　同
峠越せば谷に聲ある雪解哉　味川
宮詣の高き脚揚や春の風　同
內裏雛の冠り歪める灯影哉　待野
雛寢かせて唄ふ子守唄の雨　同

□春燈吟　—其の十九—

題　井

客間にも戸差す庭の種井哉　水子
人を殺すものなき種井雨淋し　田打夫
種俵重く沈みて水應へぬ　青由
門前の種井白さや月の暈　迦葉

題　虻

薬の面虻遁ひぬ急に飛び　青由
野を行くや耳朶打つて過ぐ虻あり　同
虻飛ぶや小さき花持つ藪の草　笛
虻出いつしか木瓜に日かげれり　水子
蓮深く虻ゐて花は影搖る　迦葉
牛小屋に茶の出番すや虻日永　關川
虻飛ぶや草に臥す牛の眼細し　但人
灯の下の鉢花に虻潜み居り　田打夫

◎春謠吟　青左

○商務粉商に泌む夜木の晩風に
昔雨上り雛子の響畑へ下りにけり
湖に戻りし笠[illegible]若葉り夜なり
[illegible]冷ます朝月の若葉[illegible]
若葉[illegible]に[illegible]啼く[illegible]
風の若葉[illegible]に布が擣り居り

○瓜青

港おぼろ畑の若水が捨てにけり
[illegible]塊々の塔鳴らす豆の花日和
[illegible]畑に風見ゆる月夜春の巣
月[illegible]啼く若葉山[illegible]
土砂降りの名殘なら[illegible]
[illegible]落ちざま見渡み船や朝若葉
[illegible]若葉畑入[illegible]牛に[illegible]

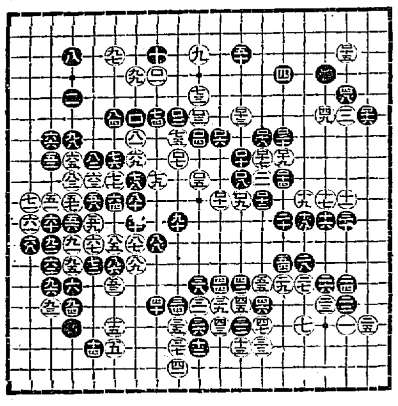
人參王
津村兄弟商會
京城本町壹　電話一八〇〇番・一八七〇番

讀者の領分

▲識京名物の[illegible]事件は[illegible]十圓の金が[illegible]一先納に申候[illegible]▲學校組合も何とか[illegible]求めなければ[illegible]の改善納税組合の組織[illegible]種々探究すべきもの少からず[illegible]や肩書本位の議員[illegible]思はれぬ様當路者の熱誠な今少し[illegible]らひ度い（無常子）▲[illegible]ンドリンを研究致したい一人ですが[illegible]いませんでしたら御住所を御知らせ[illegible]候私の宅は電話千七番（高橋）▲京城名勝[illegible]散歩地運動地南山漢陽や南公園[illegible]の為め[illegible]一食せんか[illegible]物[illegible]松生）▲一度書き損た端書を[illegible]は許されてあるが汚ないので大概[illegible]る者が多い經濟の上から[illegible]誰な切抜いて使用するがどうも[illegible]知らん郵便局一般の[illegible]うか（岡末生）▲[illegible]取ヨーと言つてカキ集めて行くのは[illegible]だけれど時節柄[illegible]既に注意してもらひたい（感じ生間）

碁戰

十番碁第九局の(六)　三段 山平壽氏　二子 大久保雅彦氏



○一〇一	チの四
●一〇二	ルの六
○一〇三	ヌの六
●一〇四	ヌの七
○一〇五	ヌの九
●一〇六	リの七
○一〇七	ルの八
●一〇八	ナの九
○一〇九	チの十
●一一〇	チの八
○一一一	リの十
●一一二	トの十
○一一三	チの六
●一一四	ヘの九
○一一五	ハの三
●一一六	ロの六
○一一七	トの八
●一一八	トの七
○一一九	ヘの八
●一二〇	ヘの七

東京株式時報

二十七日前場

東株	二〇〇、八〇
新株	一四三、五〇
大阪米株	一八〇、四〇

大阪期米

二十七日後場

△當限寄付　▲中限寄付　▲先限寄付　[illegible]

錢先二十一圓〆五錢と六錢安に寄付七錢と撥ねたるも三錢と押し六錢二節七錢を高値とし五錢あつて六錢三節五六錢を揉み四節〆五錢[illegible]

後場寄付　[illegible]　平均　[illegible]

嬢よ嬢は學者
の創製せる美顏ユーマーを召せ
御皮膚顏色は更に美を加ふべし

心ある御母上
樣方にお子方の皮膚の衛生と美の爲め美顏ユーマーを勸め奉る

相當な方々は
化粧液としては、確實な信用のある美顏ユーマーを撰ばれます

紳士の必要品
顏剃後にユーマーを用ひた時の爽快!!　顏色の美!!　皮膚の安全!!

美顏ユーマー
桃谷研究試驗所創製の美容液にして品質優秀世の信用最も厚し

通學の諸嬢が
日燒を厭ふ頃とはなりぬ。洗面後のユーマー今こそ怠り給ふな

ヒコーキ印粉劑消火器
官衙、銀行、會社、學校、家庭に必ず備へ付けらるべき消火器！
ヒコーキ印粉劑消火器
定價一本金二圓　送料金十二錢
大發賣所
京城太平通一丁目　京城日報社代理部
振替京城三〇〇番　電話構內一八番

職工募集
鑄工壹百名
製罐工壹百名　募集
右日鮮人を問はず希望者は履歷書及戸籍抄本を提出すべし試驗の上採用す
平壤　株式會社　中村組鐵工所　長電話六〇三番

眼鏡專門
△弊堂特色
レンズ精撰
技術精巧
品位確實
價格低廉
親切勉强
（詳細定價表發行す）
京城南大門通二丁目二三番地
宮川大學堂
電話二九五九番　振替京城壹壹武九番
（眼鏡製造工場子弟入用）

內科
胃腸病
診察夜九時迄
京城本町一丁目
石川醫院
電話一二七九・一二九〇番

銚子港　田中玄蕃釀造
ヒゲタ醬油
代理店　櫻正宗發賣元
京城明治町一丁目
山邑京城支店
電話八四九番　振替貯金京城七五番

イケダ小兒病內科醫院
池田季雄
京城三越吳服店前へ入る旭町四丁目
電話（醫院一一三四番　自宅三〇〇〇番）

貯蓄預金
元金百圓ニ付日步壹錢三厘
金壹錢以上何程ニテモ御預申候
株式會社長崎貯蓄銀行代理店
株式會社十八銀行京城支店
京城黄金町電話四三〇番・五八番　振替貯金口座京城八一番・四〇番
同　龍山出張所
龍山元町二丁目　電話一八番
諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

外科
皮膚科　瀨戸醫院
科
（診察夜九時迄）
京城旭町二丁目（舊三丁目）　電話二四九八番
醫學士　瀨戸潔

百圓呈進
大阪　上多商會
りん病
ばい毒
請合三円　二週分
請合二円　一週分
第一號　金一円五十錢
第二號　金三円
麻病特效主藥は治痳劑とし梅毒特效主藥は驅梅內服藥とし醫藥學上最有効と確定し
帝國醫科大學病院
勢にて當藥配劑せる高貴藥なるを保證す若し前述の證言に違へる事を發見せる時は
金百圓進呈
ゆあらゆる治療をあすものあ
き患者先に廉愛來談あれ
にせ物に東京其他各地にせトラッグあり
大阪有田（取次所）
京城南大門外停車場通
大阪トラッグ商會滿鮮本部
（振替貯金大阪三五六七番）
京城黄金町三丁目　大阪トラッグ商會
釜山大廳町二丁目　大阪トラッグ商會
元山本町三丁目　大阪トラッグ商會
他の藥店に販賣を不許
京城龍山等各地に僞物有御注意
京城南大門外停車場通　大阪トラッグ

日本郵船出帆
仁川出帆
相模丸　五月二十日
三河丸　五月十日
高砂丸　四月三十日
大連行、天津行（正午出帆）
仁川海岸町十一丁目十一番　電話　堀回漕部

仁川出帆
尼崎汽船　仁川出帆
群山木浦釜山下關神戸大阪行
神代丸　四月　日午後四時
秀吉丸　四月　日午後四時
君代丸　五月　日午後四時
大有丸　五月四日午後四時
仁川海岸通二丁目十九番　電話五十　高杉回漕部

大阪商船株式會社汽船出帆廣告
仁川出帆
◎神戸、大阪行
△油頭丸　五月二日　後五時
△群山、神戸、大阪行
◎南都丸　五月十二日　後九時
元山出帆
△南都丸　四月　日　後五時
大連出帆
◎西湖丸（大連、勒浦、城津行）　四月廿八日　後三時
◎安平丸（釜山、門司、宇品、神戸、大阪行）　五月四日　後九時
上海、基隆、打狗行
◎湖北丸　五月十三日　前六時
◎共隆丸　五月十八日　後四時
內地各港出帆主要航路
南米行　一年四回
北米行　毎月一回
濠洲行　毎月二回
孟買行　毎月一回
南洋行　毎月二回
御注意
京城切符發賣所　大阪商船株式會社仁川支店
仁川京城通り切符發賣所

間島自動車著發時刻
織居自動車部金泉支部

共同汽船出帆
阿波共同汽船株式會社
大連行
第十一共同丸　四月廿八日午後八時
仁川代理店　野口商會
元山代理店　田口回漕部
京城大取次店　河村運送店

釜山出帆廣告
門司、神戸、大阪行
和歌浦丸
元山、浦津、浦項行
立神丸
佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
天草丸
元山、西湖、新浦、城津、清津行
第三翠平丸
門司、宇品、神戸、大阪行
第三翠平丸

朝鮮郵船出帆
敦賀行　五月六日　清津發
平壤丸　五月九日　元山發
浦汐行
山陽丸　四月三十日　五月二日　釜山發
雄基行
京畿丸　五月五日
忠清丸　五月八日
元山雄基線
穩城丸　五月二日
大阪行
平安丸　五月三日
關門行
慶興丸　五月六日
忠清丸　五月九日
金剛山遊覽便
釜山浦項線
濟州島行
昌平丸　五月五日
西海岸線
東海岸線
濟州島行
木浦麗水線
多島海行
木浦行
慶興丸　五月四日
全州丸　五月一日
江原丸　五月廿九日
宗信丸　五月廿四日
本社　京城南大門通（電話一九五二・一二三三）
釜山支店
元山出張所
仁川代理店　堀回漕部
木浦代理店　小野回漕部
京城荷客取扱店
京城南大門驛前　松原運送店　電話長一一七〇